

能勢町介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
報告・概要(案)

第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて

令和5(2023)年8月

能勢町

目 次

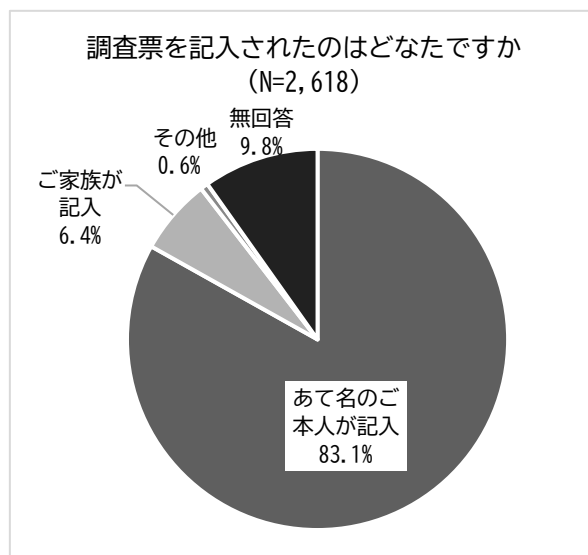
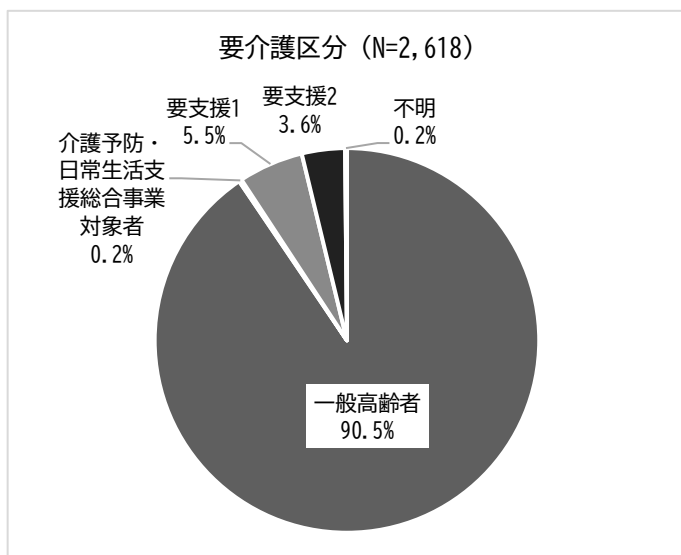
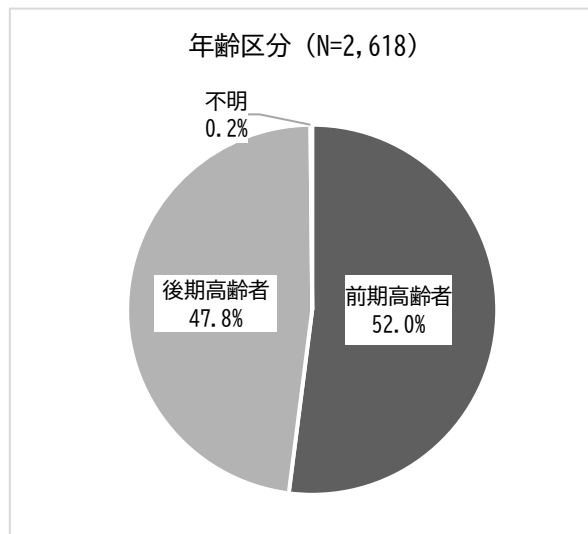
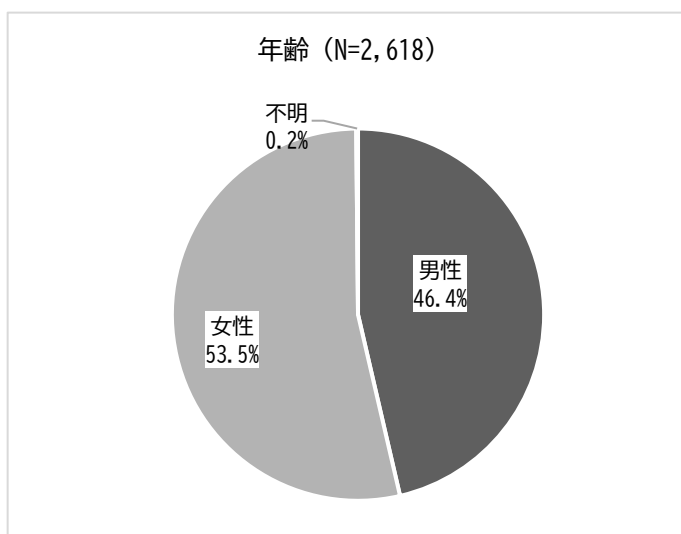
1. 調査概要	1
2. 回答者の属性について	1
3. 調査結果	2
問1 あなたのご家族や生活状況について	2
問2 からだを動かすことについて	3
問3 食べることについて	6
問4 毎日の生活について	8
問5 地域での活動について	11
問6 たすけあいについて	13
問7 健康について	16
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	19
問9 その他	19

1. 調査概要

調査期間	令和5年4月1日から4月28日
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
調査対象者	介護保険第1号被保険者のうち、非認定者、介護保険要支援認定者及び事業対象者
調査対象者数	3,446
有効回答	2,618
回収率	76.0%

2. 回答者の属性について

① 性別



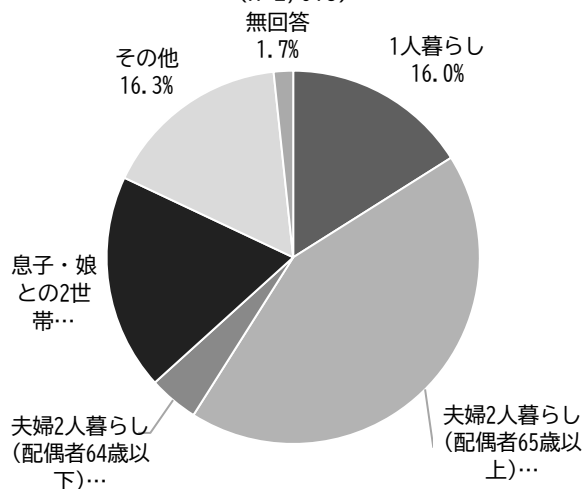
3. 調査結果

問1 あなたのご家族や生活状況について

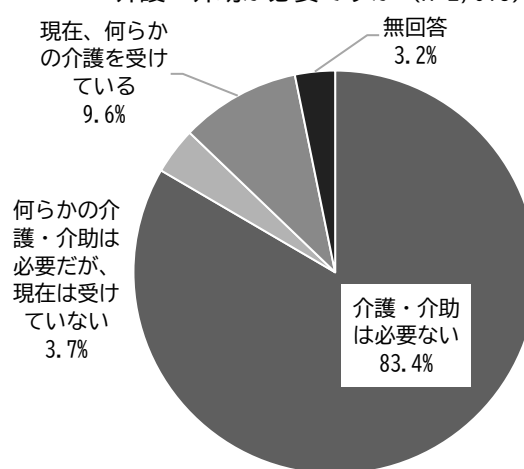
ポイント

- ✓ 1人暮らしは16.0%で増加傾向が見られる。
- ✓ 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は3.8%で減少傾向、「現在、何らかの介護を受けている」は9.6%で増加傾向が見られる。
- ✓ 主な介護者は配偶者(夫・妻)、娘、息子、介護サービスのヘルパーの順となっている。

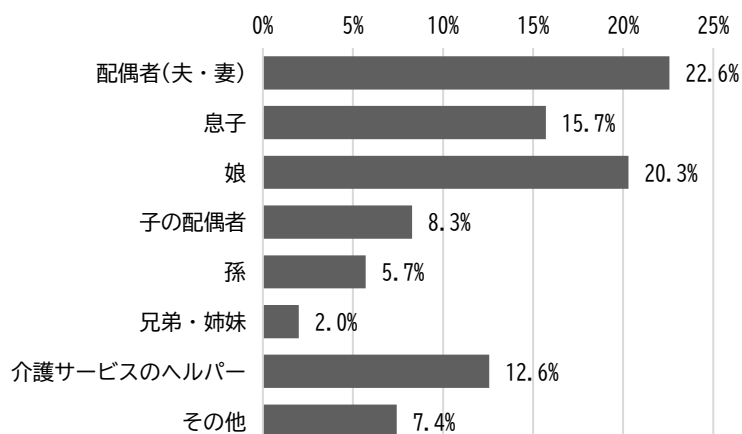
問1-1 家族構成をお教えてください
(N=2,618)



問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (N=2,618)



問1-2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか
(N=350)

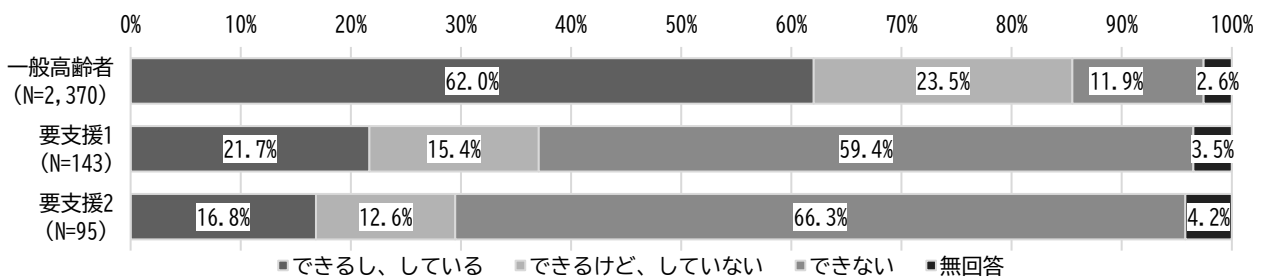


問2 からだを動かすことについて

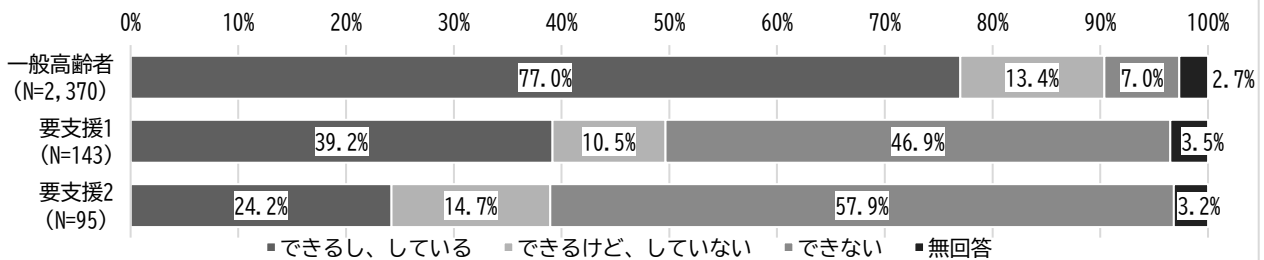
ポイント

- ✓ それぞれの身体動作について、要支援になるほど「できない」が増加する傾向が見られる。「できるけど、していない」は「一般高齢者」が多い傾向が見られるが、「要支援1」「要支援2」も一定数見られる。「できるけど、していない」を減らし、「できるし、している」を増やしていくことが、重要である。
- ✓ 過去1年間に転倒した経験のある高齢者は要支援になるほど多く、「要支援1」の86.8%、「要支援2」の90.5%が転倒不安を抱えている。
- ✓ 「ほとんど外出しない」は要支援になるほど多く、「要支援2」は33.7%となっている。
- ✓ 昨年と比べて外出の回数が減っている高齢者は要支援になるほど多く、「要支援1」は49.0%、「要支援2」は60.0%となっている。外出を控えている理由は「足腰などの痛み」「交通手段がない」が多いが、新型コロナウイルスの影響は「一般高齢者」に多く現れている。
- ✓ 外出の手段について「自動車(自分で運転)」は「一般高齢者」が72.1%と多く、「自動車(人に乗せてもらう)」は「要支援1」が53.8%、「要支援2」が56.8%と多い。

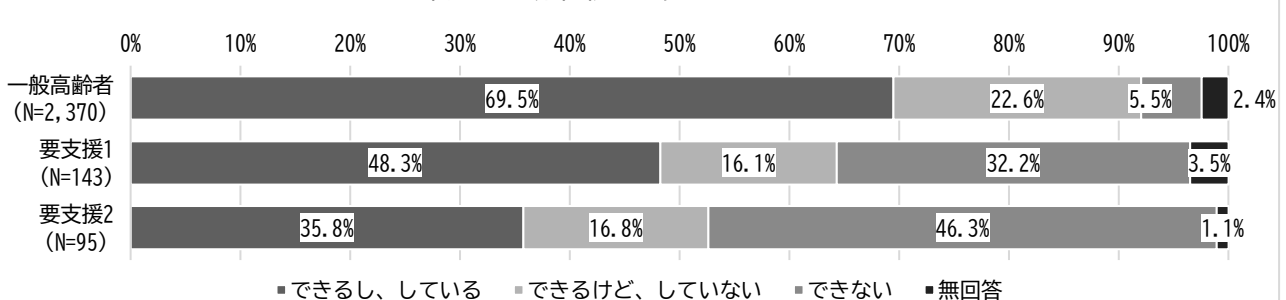
問2-1 手すりや壁をつたわずに昇っていますか

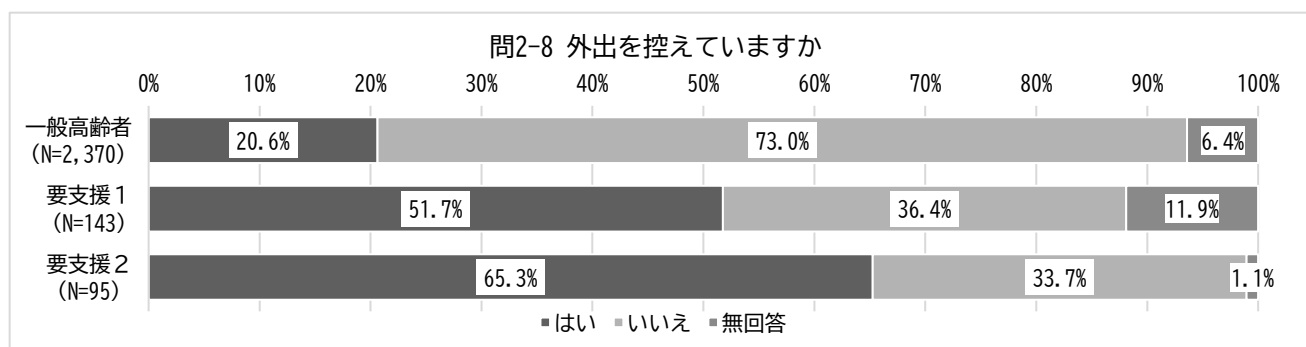
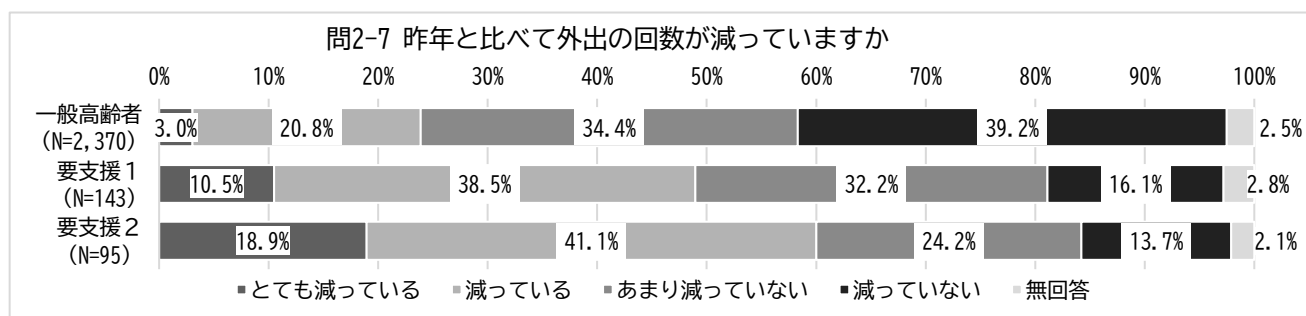
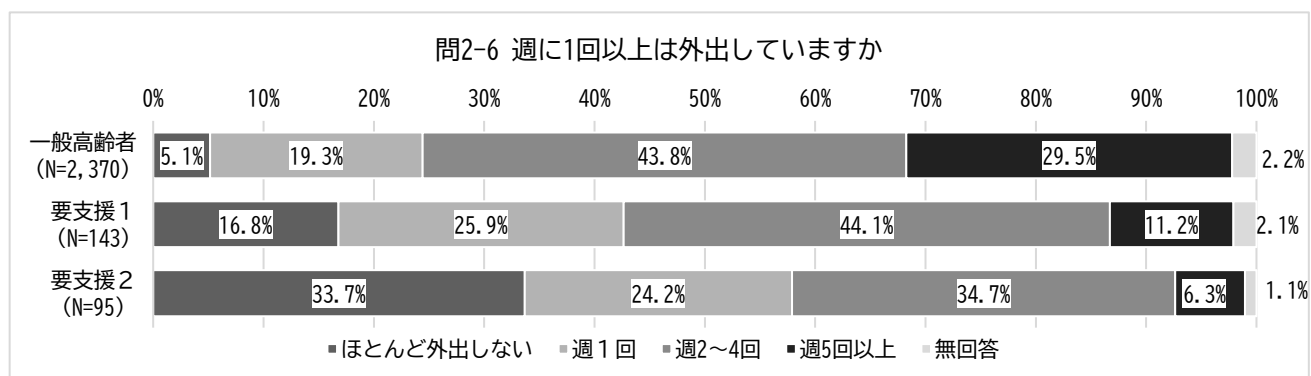
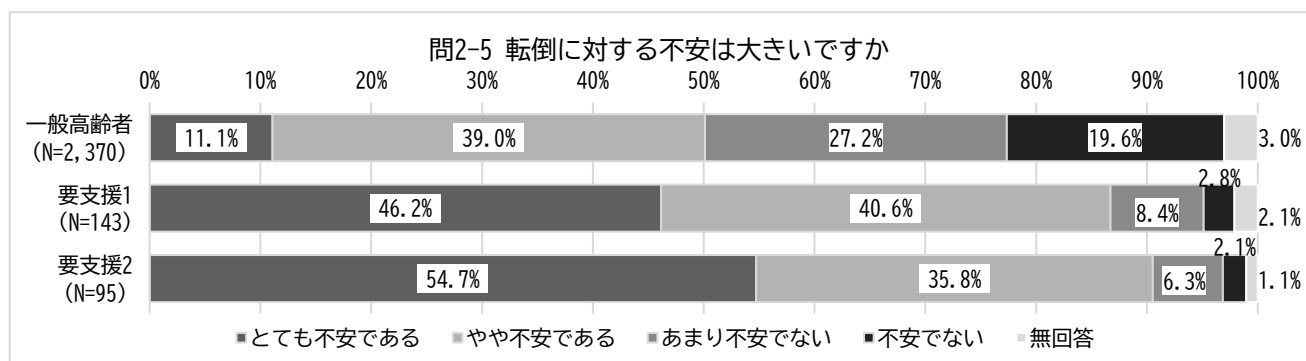
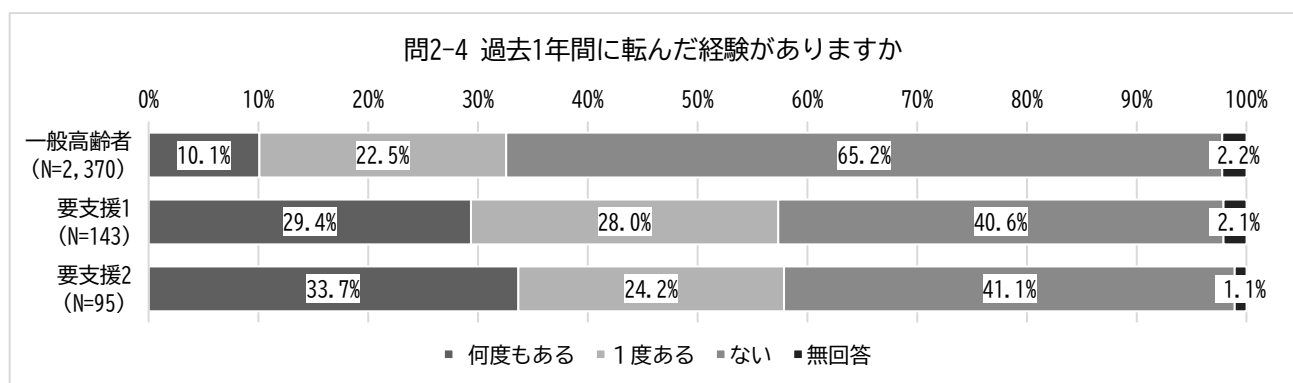


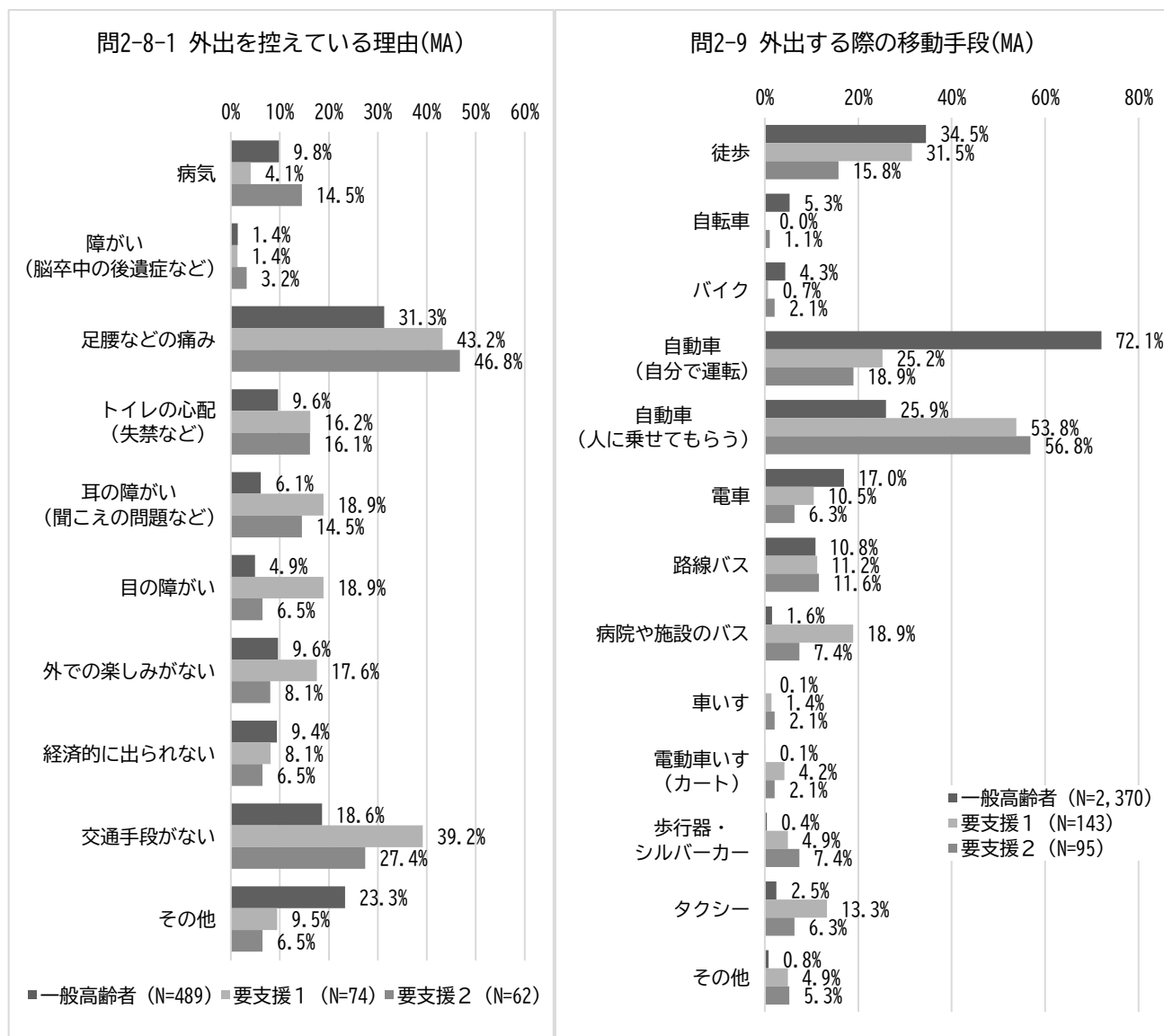
問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



問2-3 15分位続けて歩いていますか



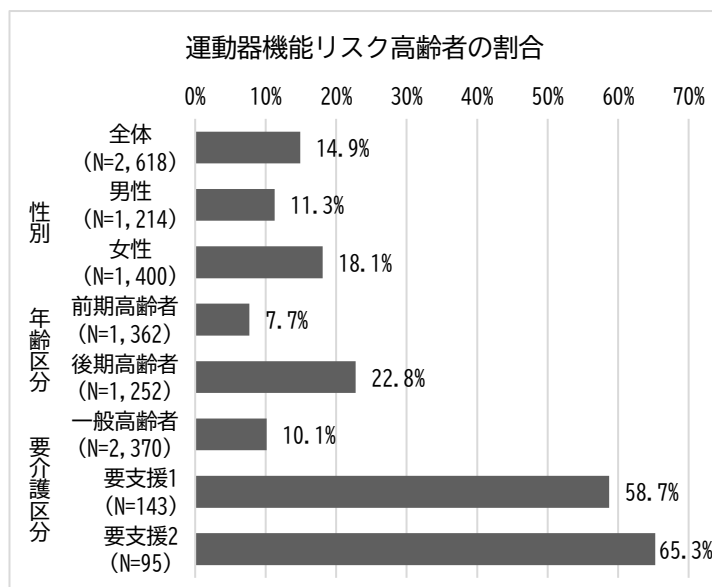




➤ 運動器機能リスクについて

- ✓ 運動器機能にリスクを抱えている者は
男性<女性
前期高齢者<後期高齢者
- ✓ 「要支援1」の58.7%、「要支援2」の65.3%が運動器機能リスクを抱えていることに
着目する必要がある

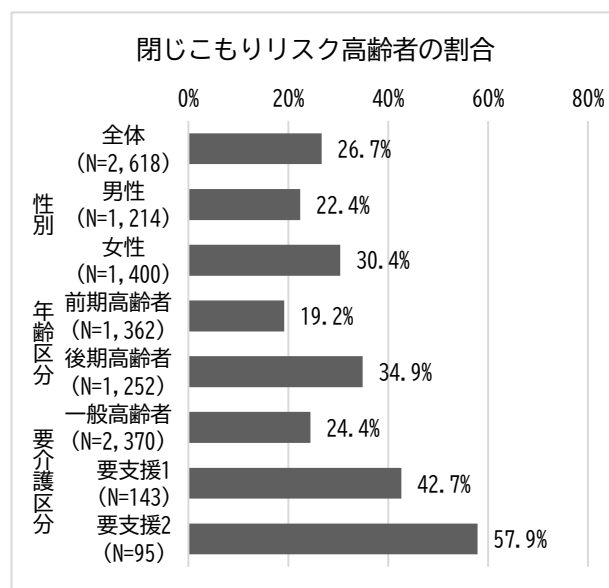
運動器機能リスクは階段の昇降(問2-1)、椅子からの立ち上がり(問2-2)、歩行(問2-3)が「できない」、転倒経験(問2-4),転倒不安(問2-5)が3以上該当している。



➤ 閉じこもりリスクについて

- ✓ 「男性」より「女性」、「前期高齢者」より「後期高齢者」の方が多く見られる。
- ✓ 「要支援2」の57.9%が閉じこもりにリスクを抱えていることに着目する必要がある。

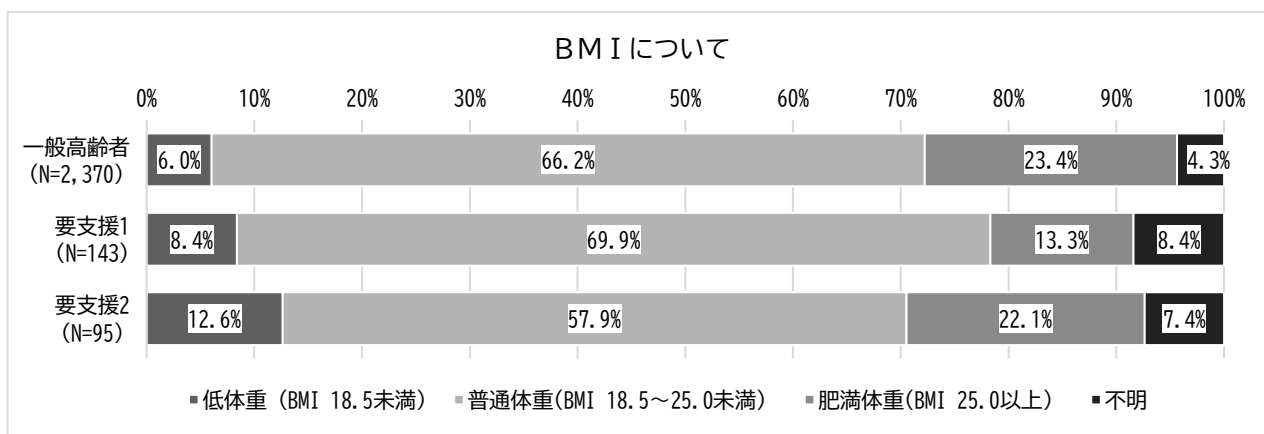
問2-6「週に1回以上は外出していますか」に「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」のどちらかと回答した場合に該当

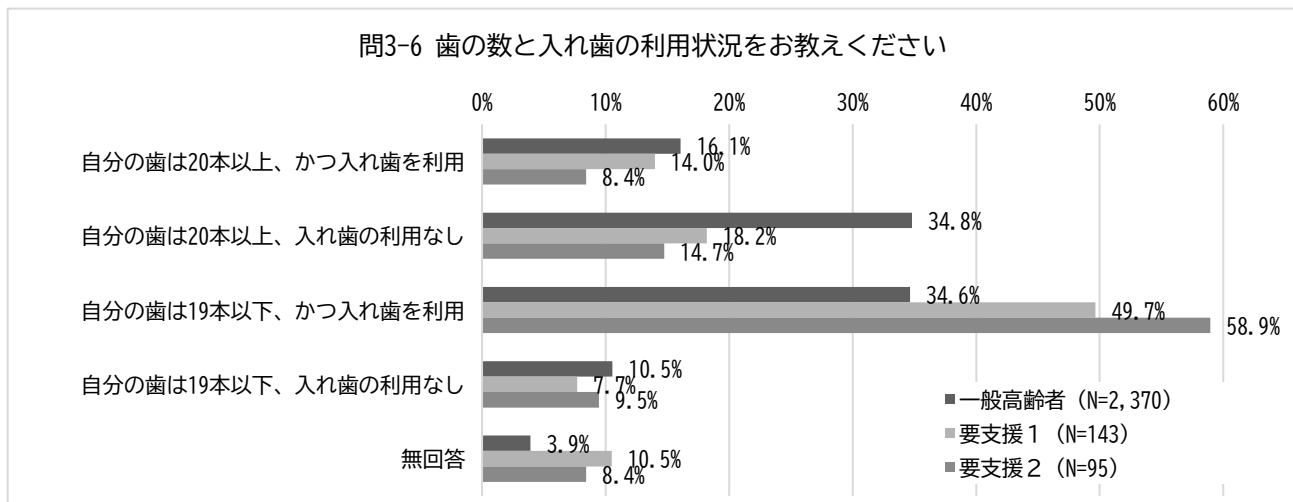
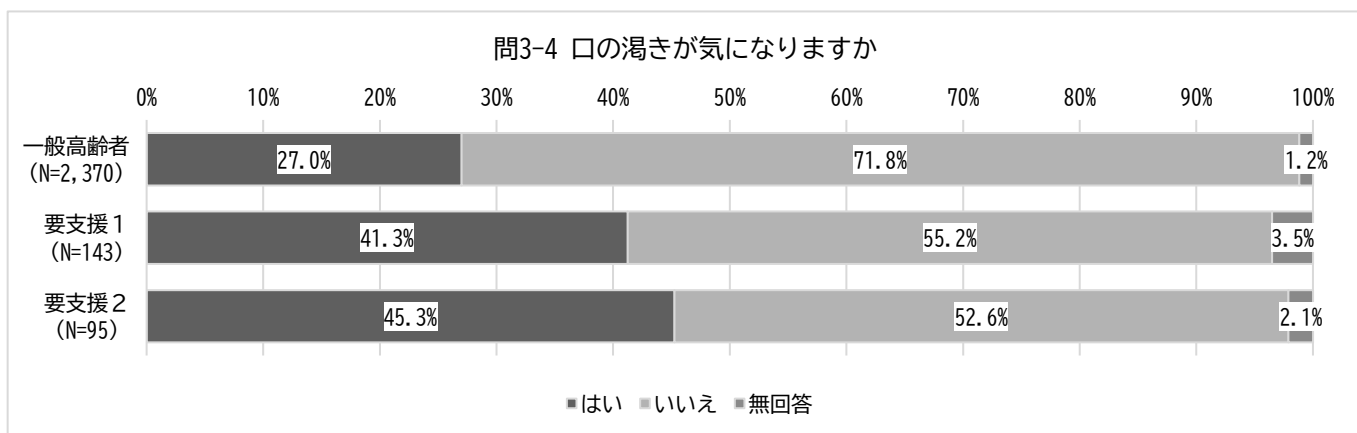
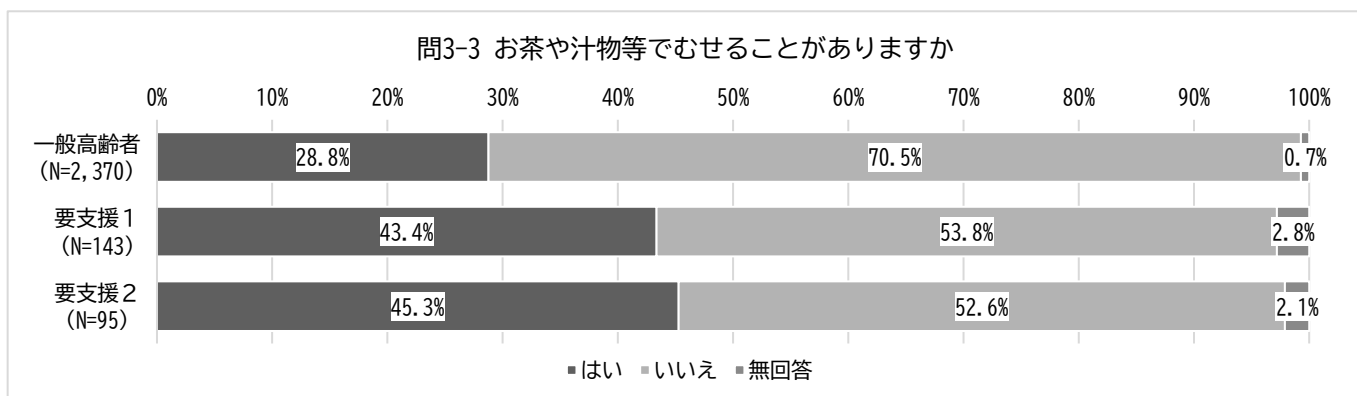
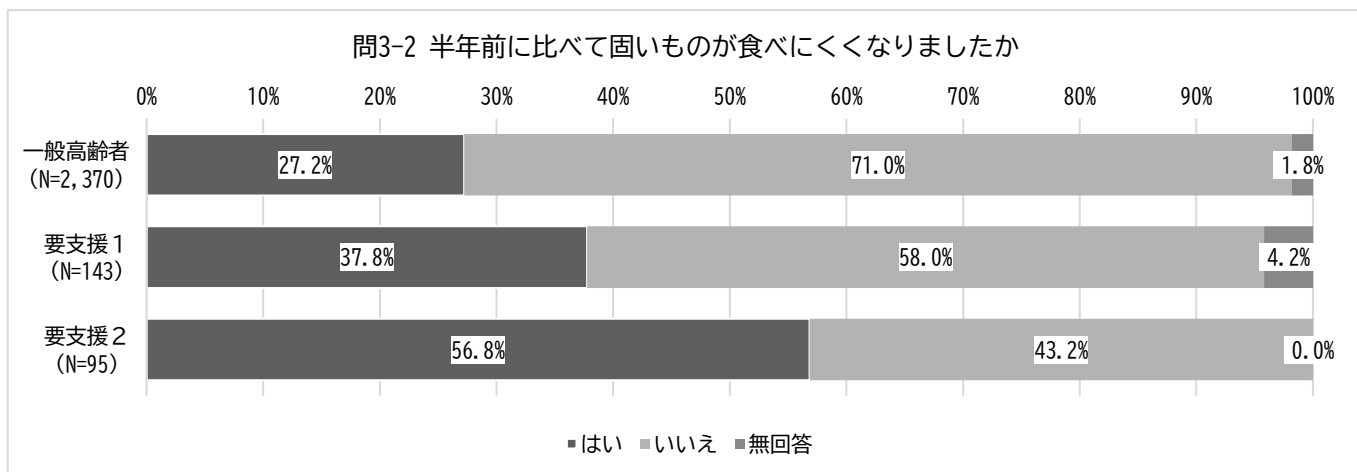


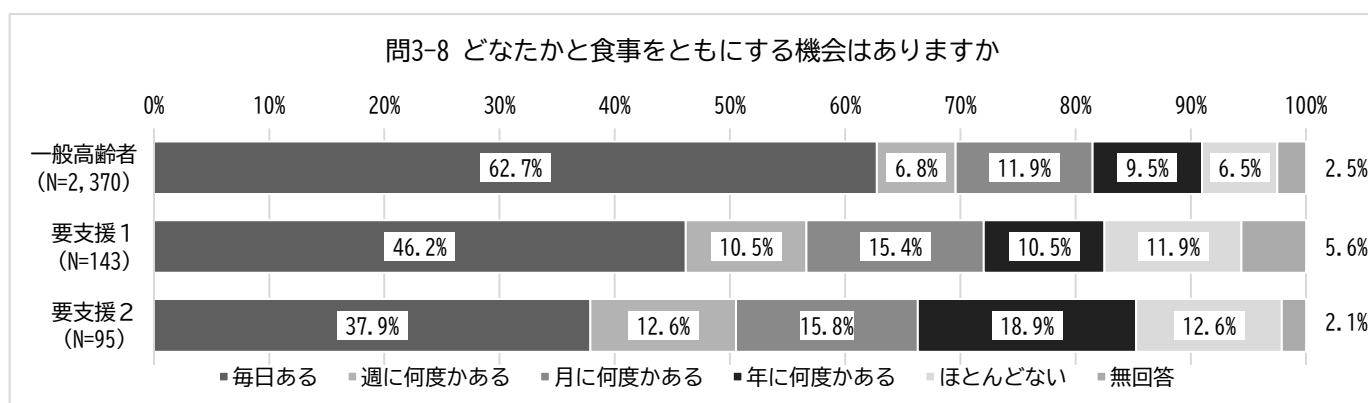
問3 食べることについて

ポイント

- ✓ BMIを見ると、要支援になるほど「低体重」が増える傾向がある。
- ✓ 要支援になるほど、固いものが食べにくい、お茶や汁物等でむせる、口の渇きが気になる等の口腔機能の低下が見られる。
- ✓ 自分の歯が20本以上あるは48.9%で、増加傾向にあり、8020運動の成果が見られる。
- ✓ 誰かと食事を共にする機会が「毎日ある」は60.8%だが、「ほとんどない」は「一般高齢者」が6.5%、「要支援1」が11.9%、「要支援2」が12.6%と、要支援になるほど、孤食が多い傾向が見られる。



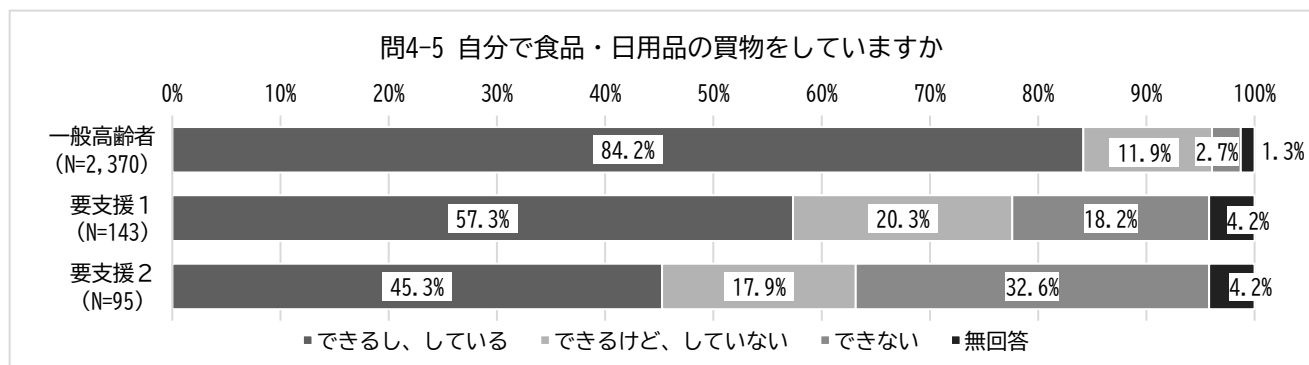
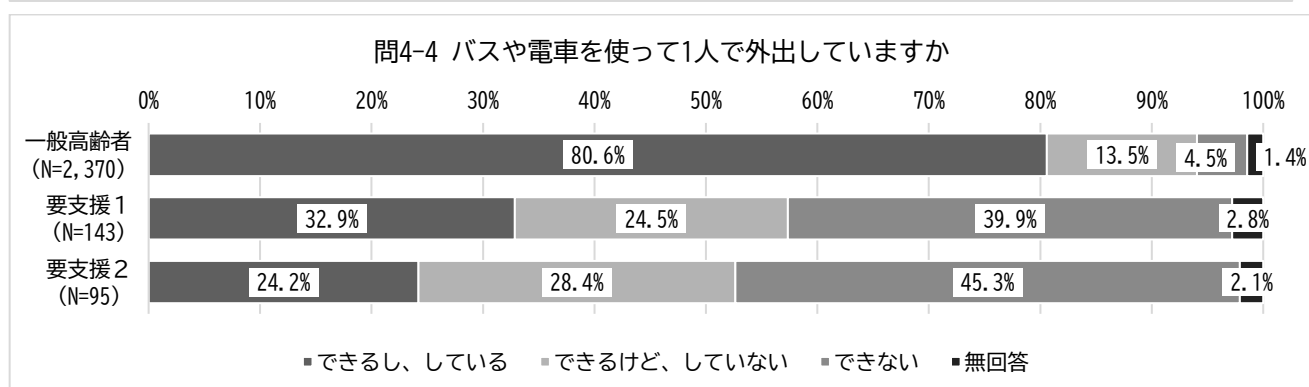
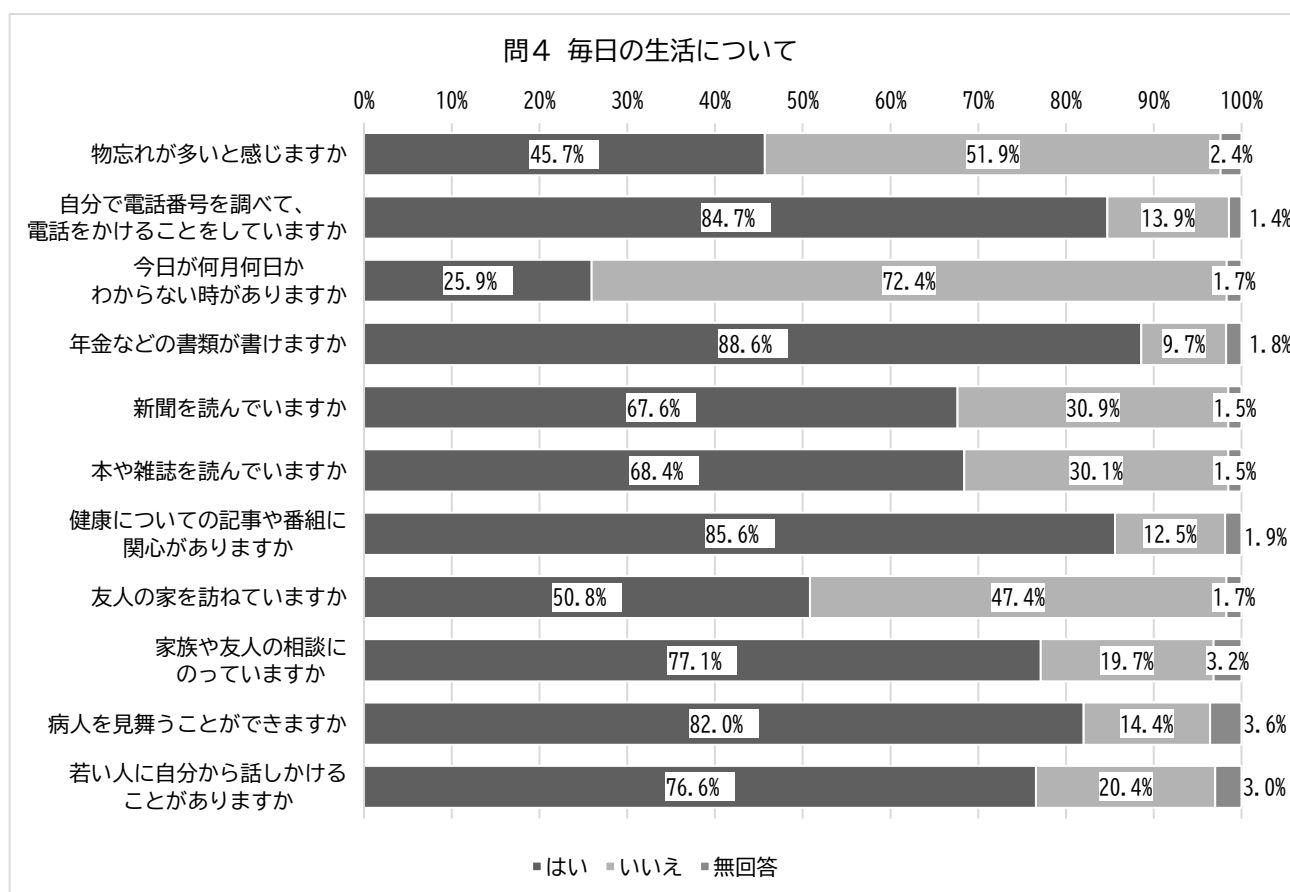


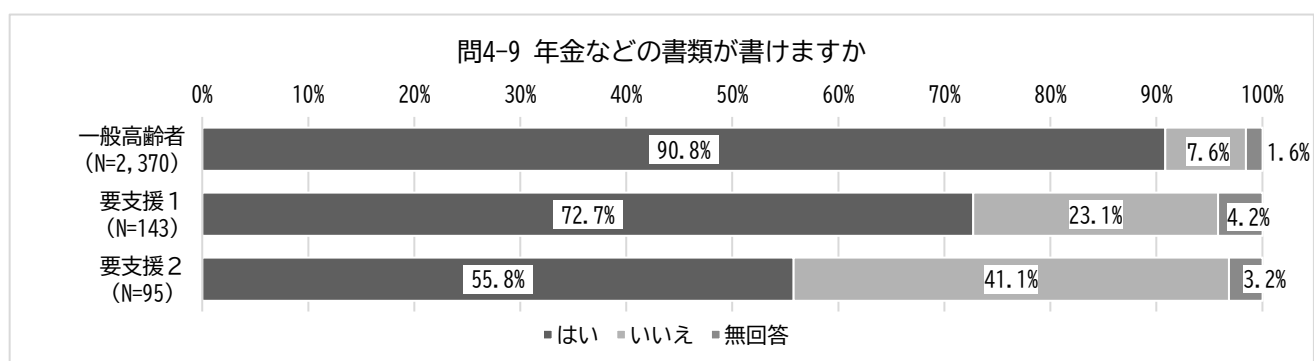
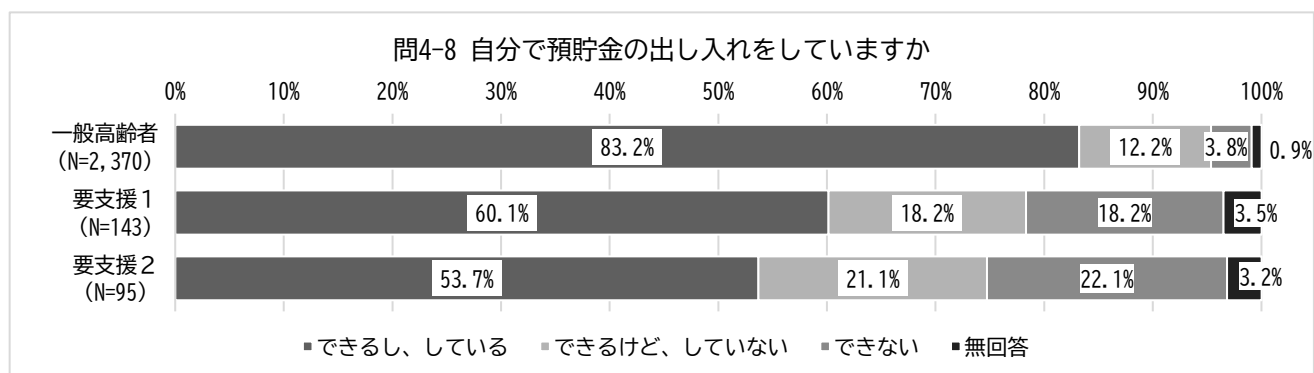
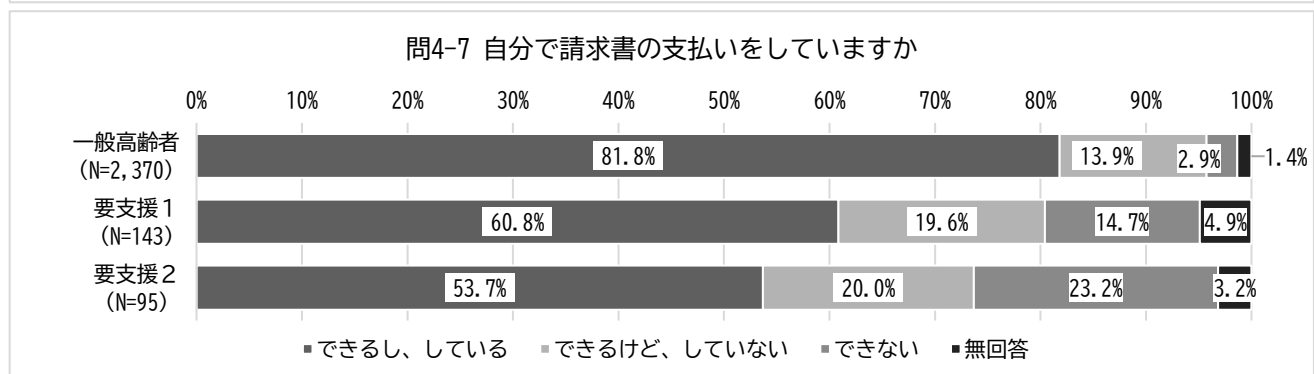
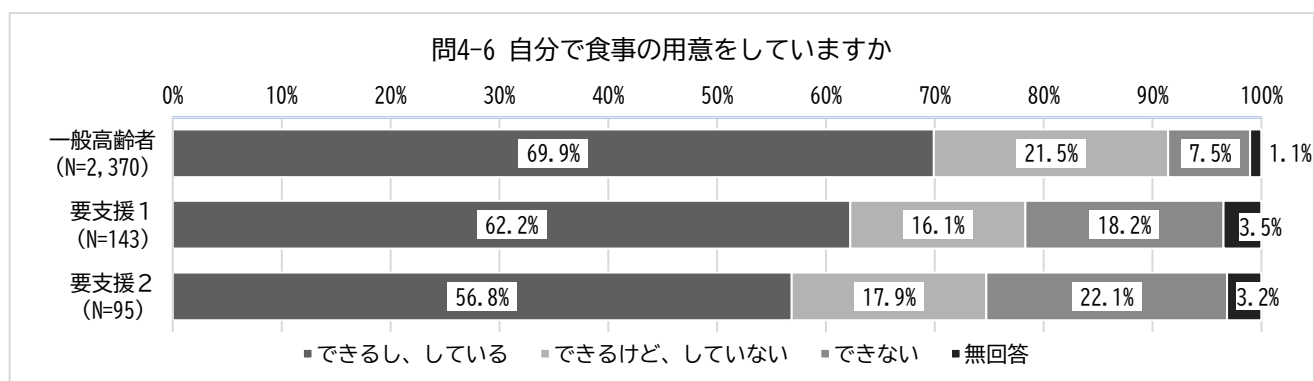


問4 毎日の生活について

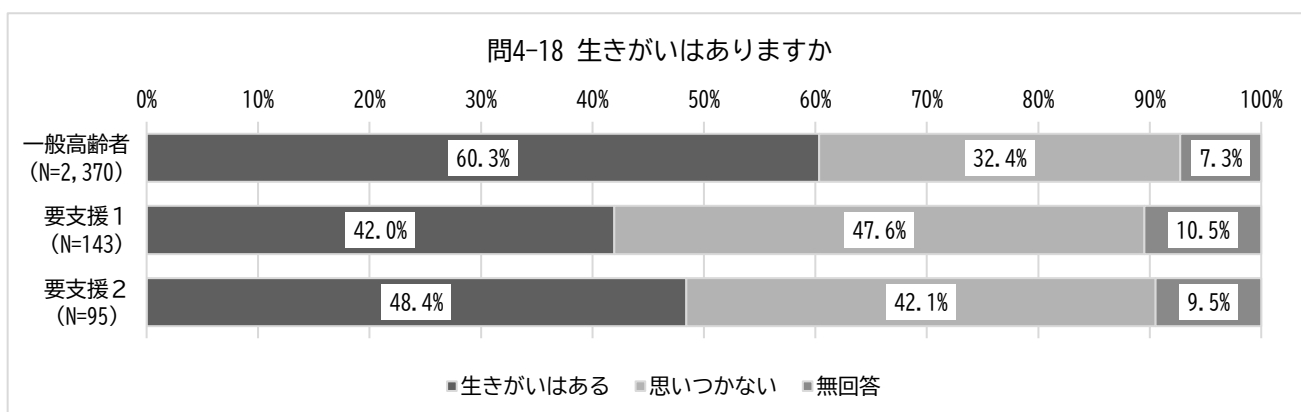
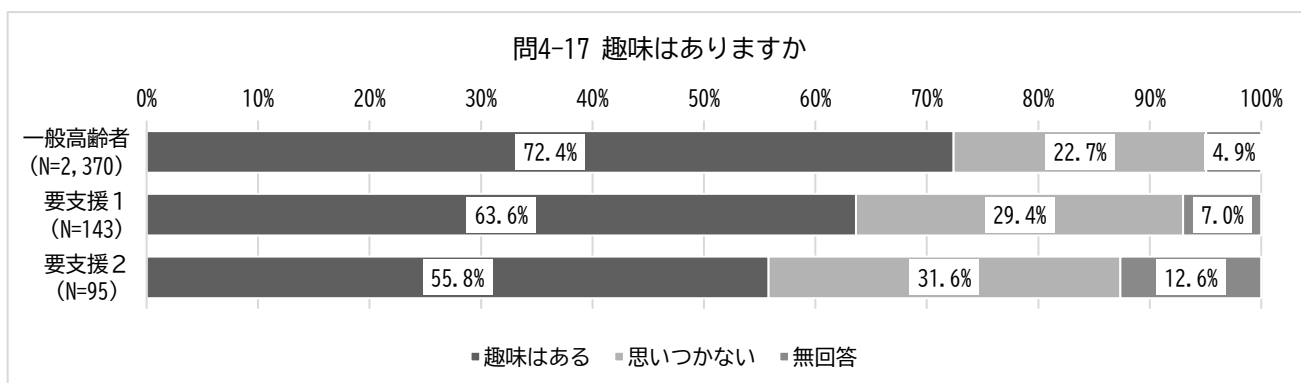
ポイント

- ✓ 日常生活の様々なことが支障なくできている高齢者は多いが、要支援になるにしたがって、できなくなる傾向が現れている。
- ✓ 「バスや電車を使って1人で外出」「食品・日用品の買物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金の出し入れ」が「できる」と回答している高齢者は多いが、要支援になるほど「できる」が少なくなり、「できるけど、していない」と回答した高齢者が一定数いることに着目する必要がある。
- ✓ 趣味があるは「一般高齢者」が72.4%、「要支援1」が63.6%、「要支援2」が55.8%と、要支援になるほど、趣味が少なくなる傾向がある。
- ✓ 生きがいがあるは「一般高齢者」が60.3%、「要支援1」が42.0%、「要支援2」が48.4%と、要支援になるほど、生きがいをもてなくなっていく傾向がある。
- ✓ 要支援になっても、「できること」を維持し、趣味を楽しみながら、生きがいをする、そのような暮らしをサポートする取組が重要である。





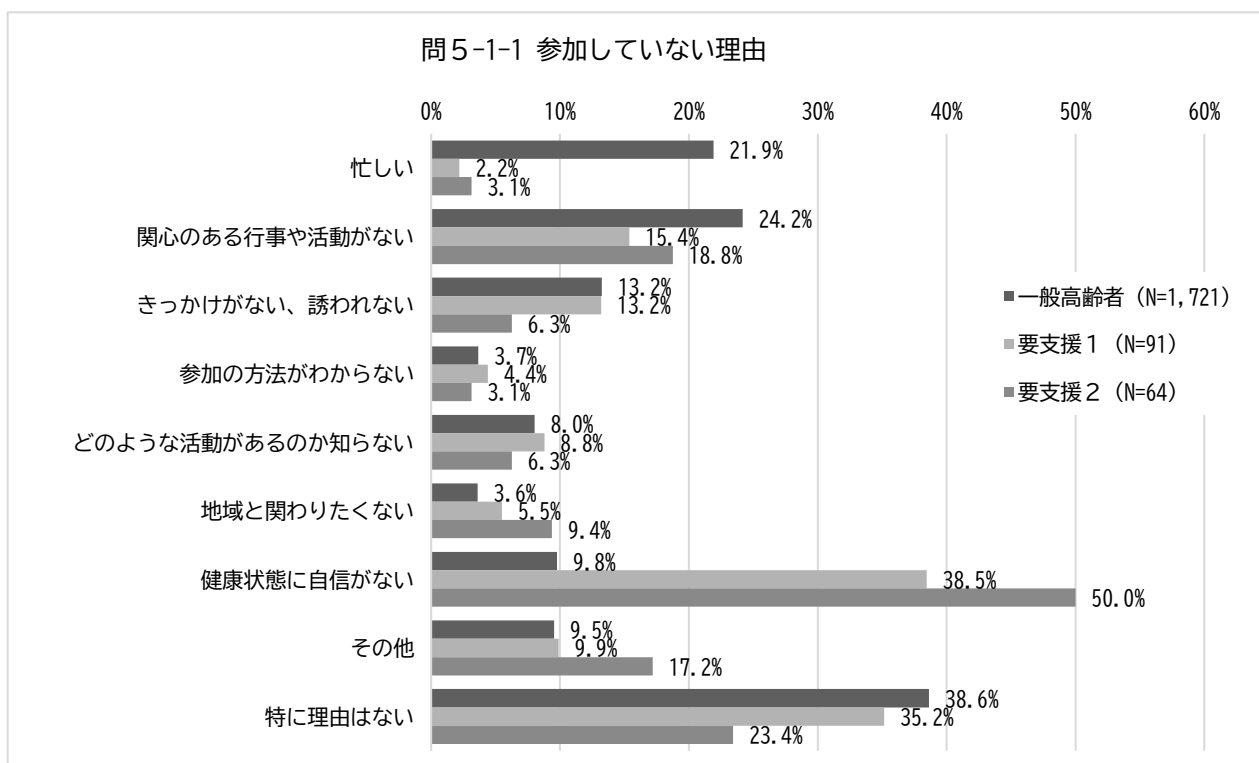
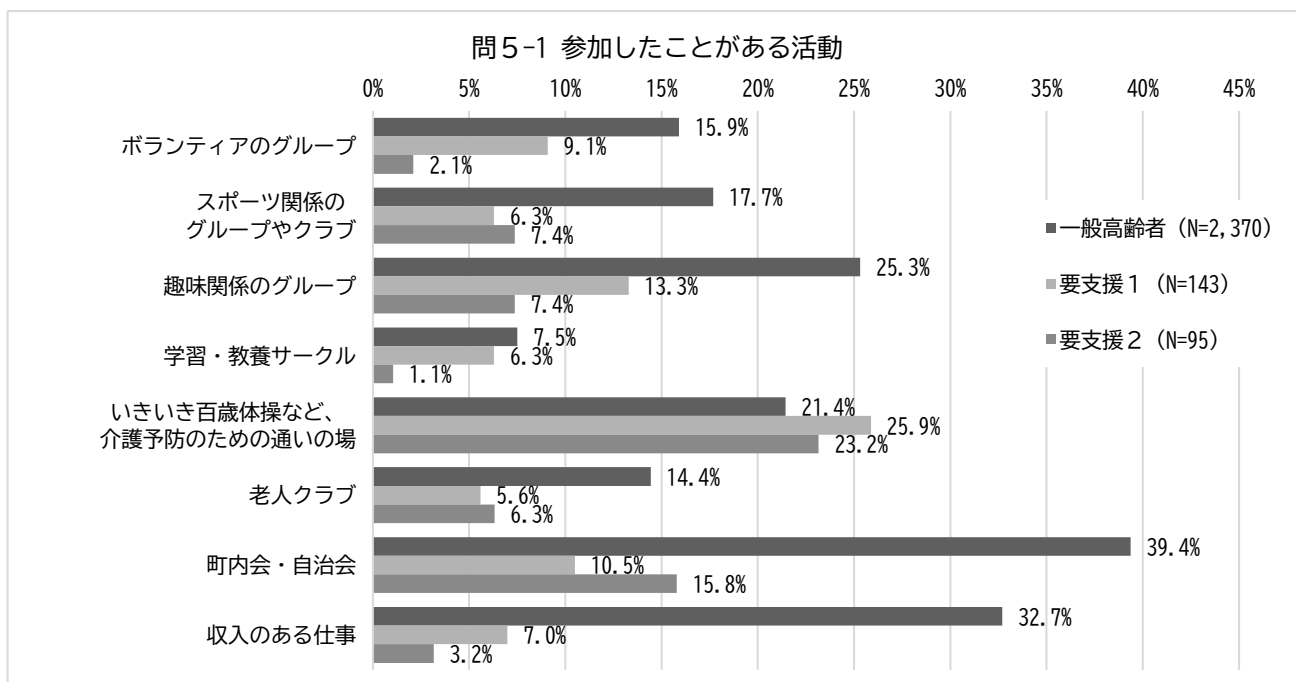
➤ 趣味と生きがいについて

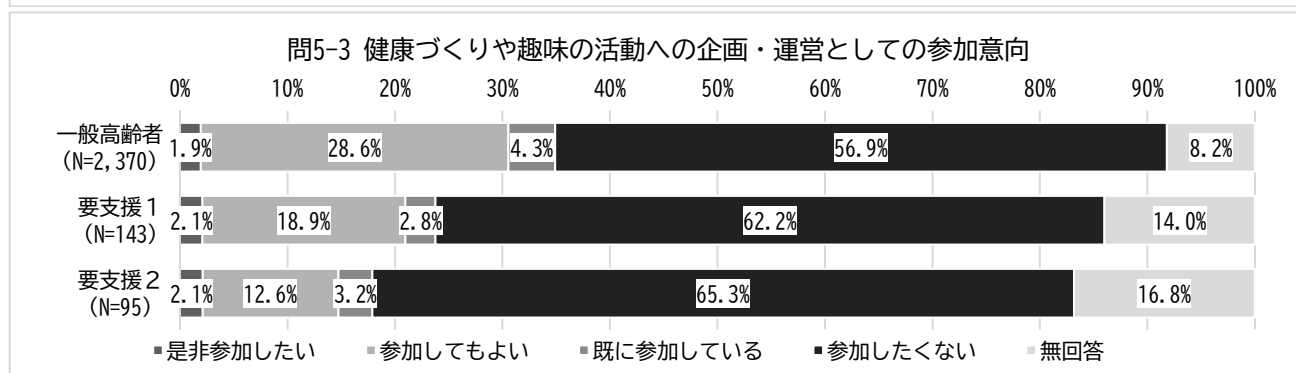
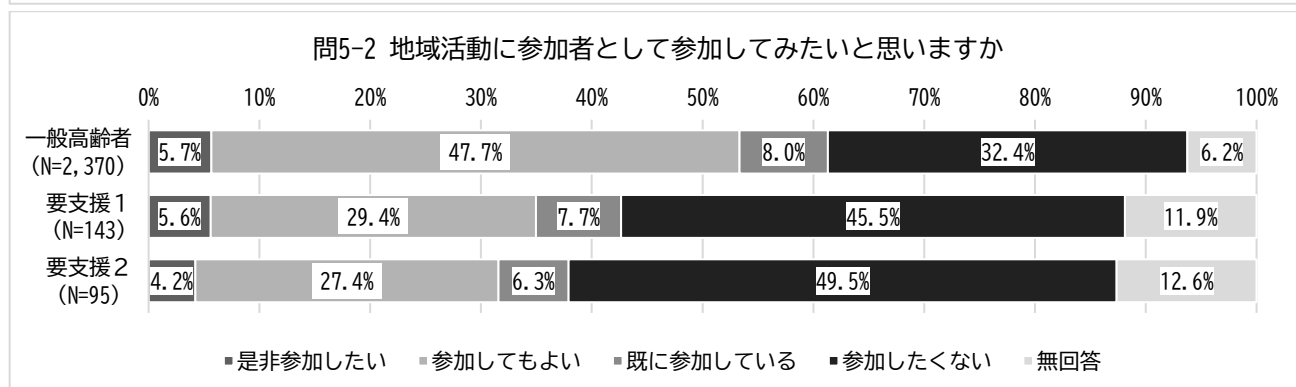
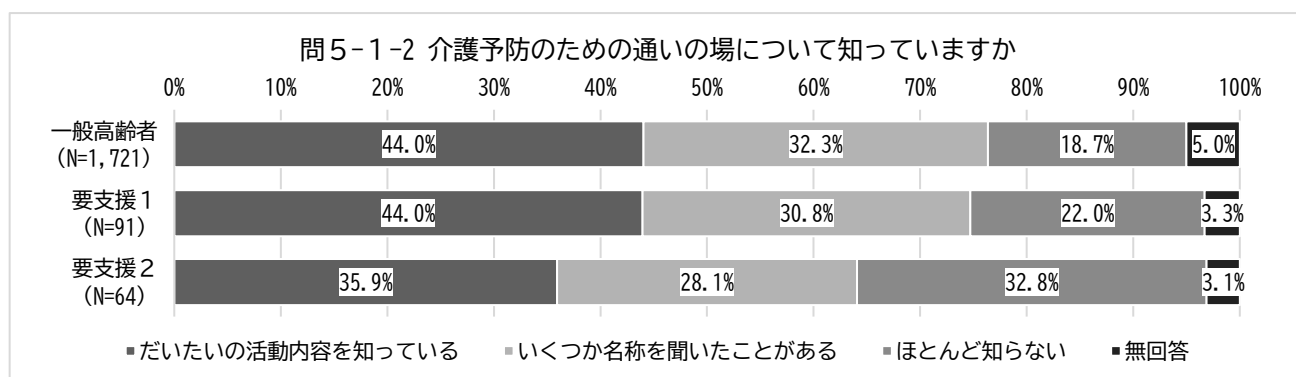


問5 地域での活動について

ポイント

- ✓ 日常生活の様々なことが支障なくできている高齢者は多いが、要支援になるにしたがって、できなくなる傾向が現れている。
- ✓ 「バスや電車を使って1人で外出」「食品・日用品の買物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金の出し入れ」が「できる」と回答している高齢者は多いが、要支援になるほど「できる」が少なくなり、「できるけど、していない」と回答した高齢者が一定数いることに着目する必要がある。
- ✓ 趣味があるは「一般高齢者」が72.4%、「要支援1」が63.6%、「要支援2」が55.8%と、要支援になるほど、趣味が少なくなる傾向がある。
- ✓ 生きがいがあるは「一般高齢者」が60.3%、「要支援1」が42.0%、「要支援2」が48.4%と、要支援になるほど、生きがいをもてなくなっていく傾向がある。
- ✓ 要支援になっても、「できること」を維持し、趣味を楽しみながら、生きがいをする、そのような暮らしをサポートする取組が重要である。



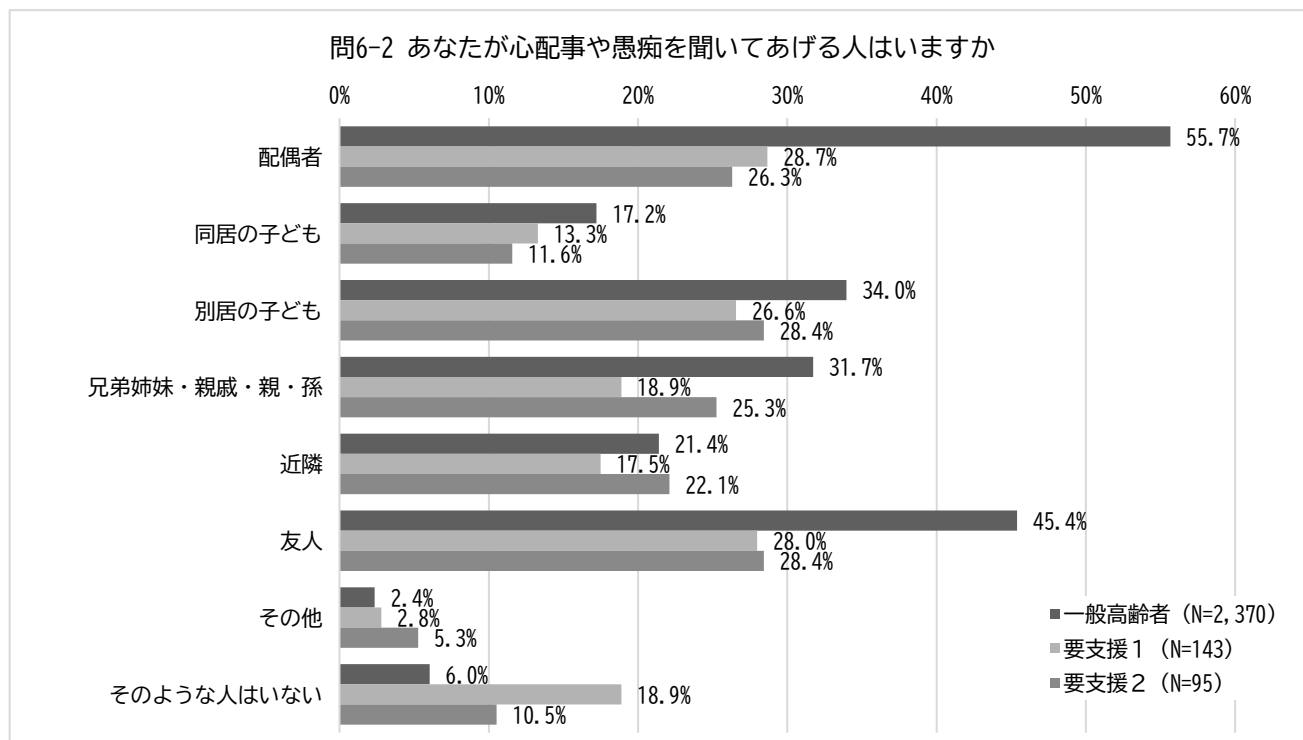
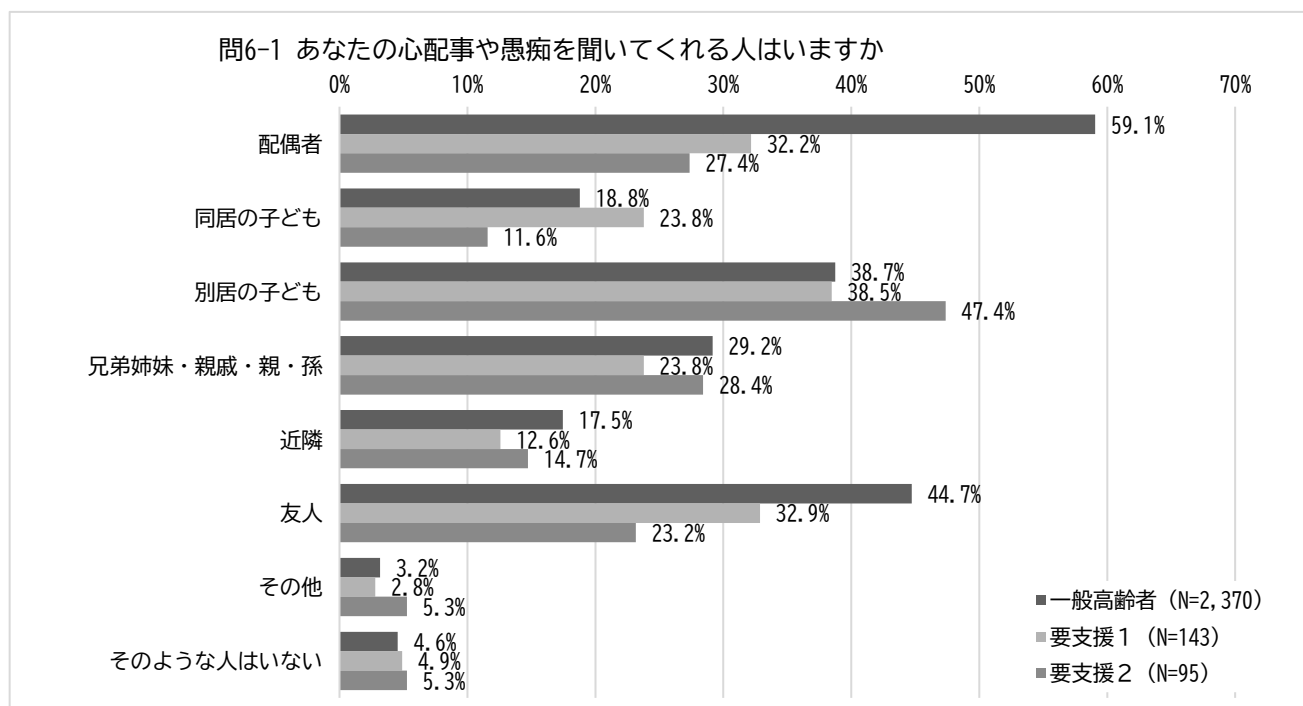


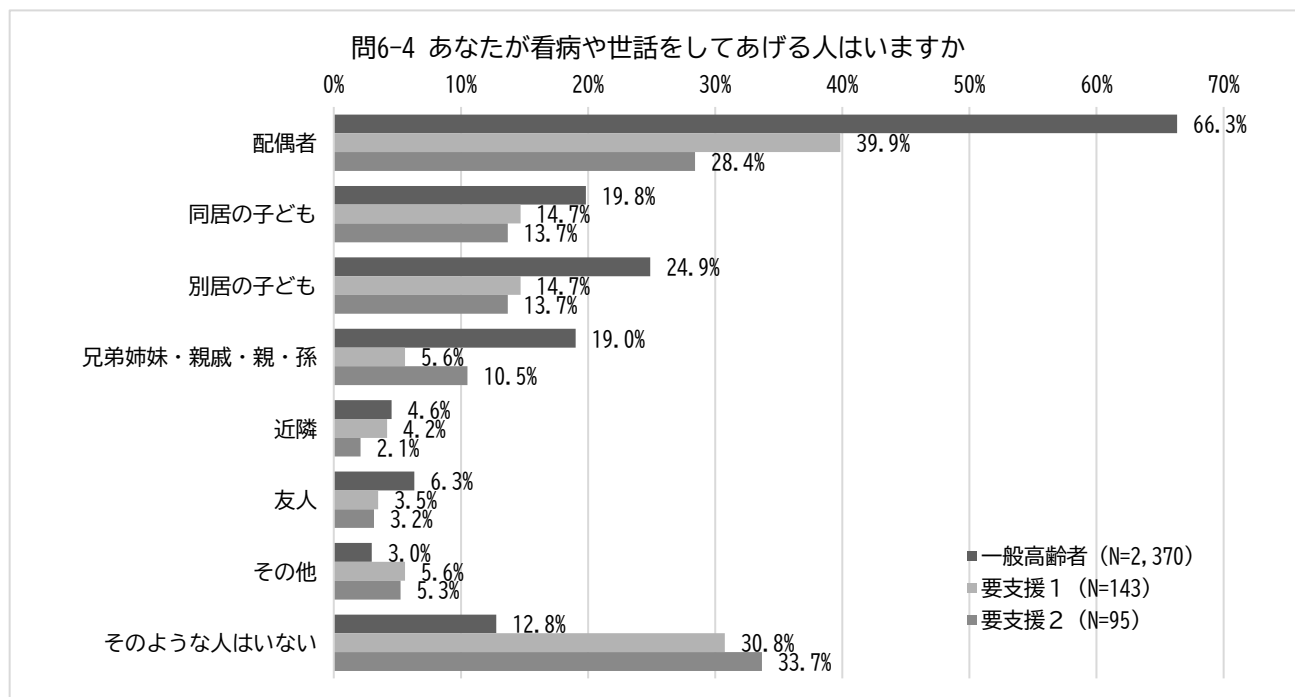
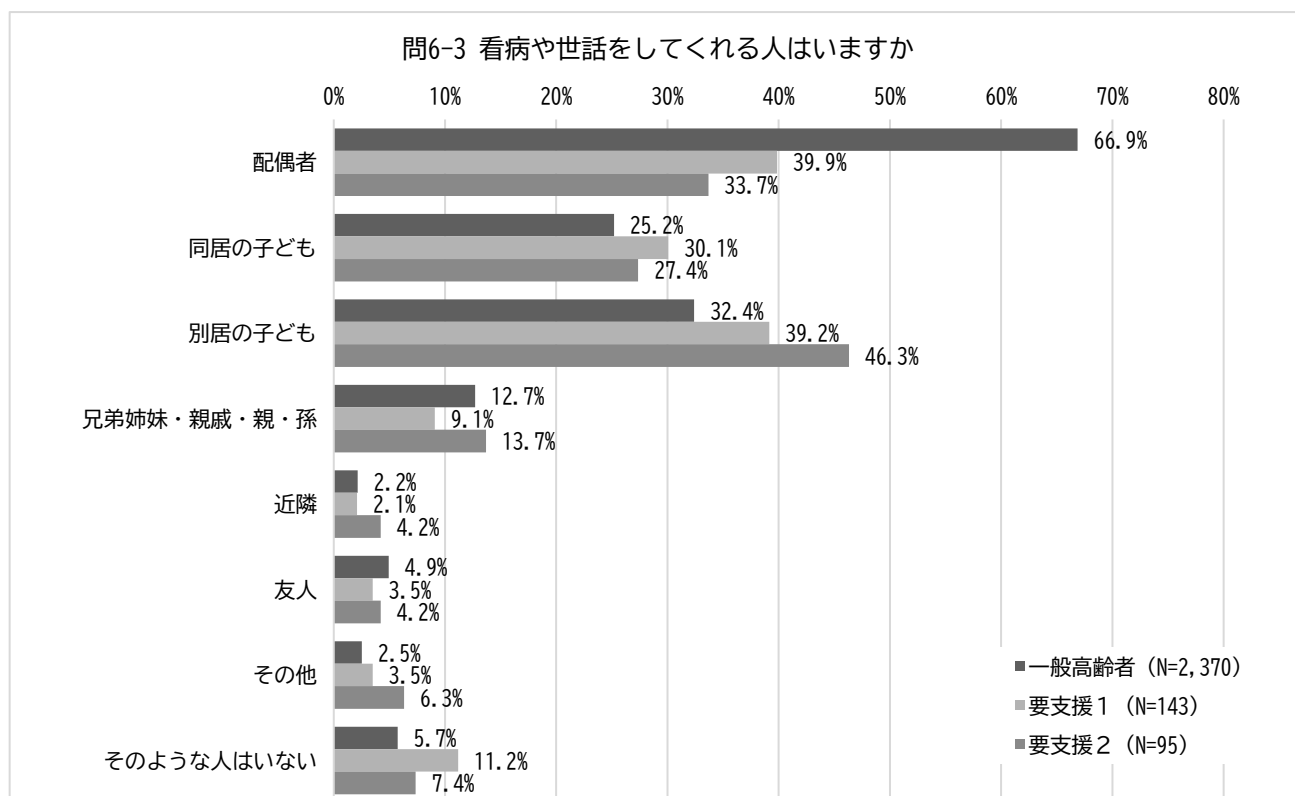
問6 たすけあいについて

ポイント

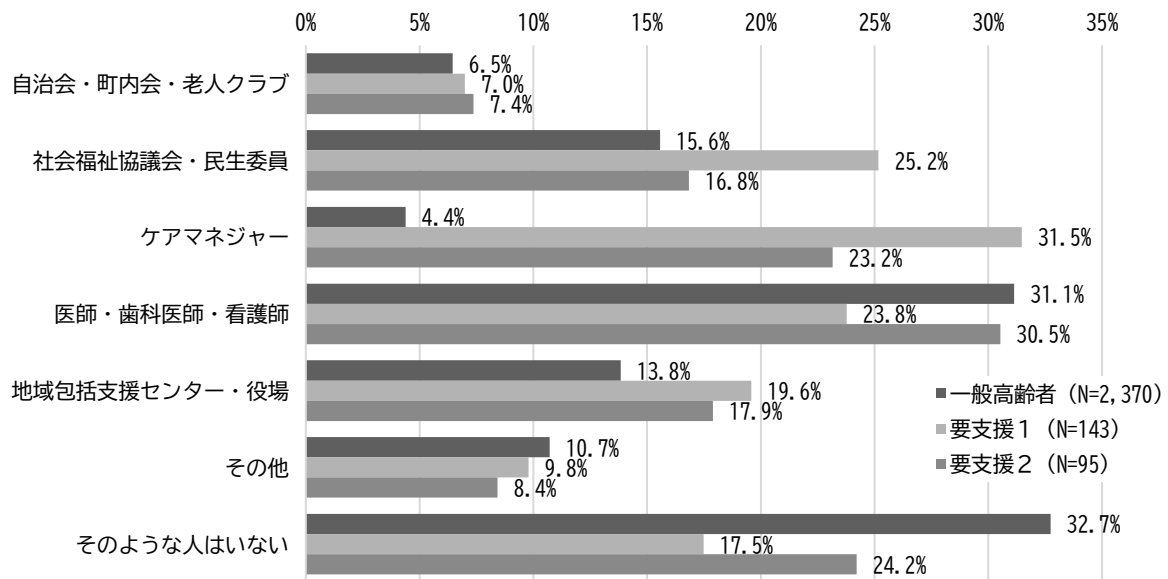
- ✓ 心配事や愚痴を聞いてくれたり、聞いてあげる人は「配偶者」「友人」「別居の子ども」が多く、要支援になるほど「そのような人はいない」が増える傾向が現われている。
- ✓ 看病や世話をしてくれたり、してあげる人は「配偶者」「別居の子ども」「同居の子ども」が多く、要支援になるほど「そのような人はいない」が増える傾向が現われている。
- ✓ 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人は「一般高齢者」は「そのような人はいない」「医師・歯科医師・看護師」の順に多く、「要支援1」「要支援2」は「ケアマネジャー」「医師・歯科医師・看護師」「そのような人はいない」の順に多い。
- ✓ 友人・知人と会う頻度は「毎日ある」の9.3%、「週に何度かある」の29.1%を合わせると38.4%となっており、要介護度別に見ると「一般高齢者」が39.8%、「要支援1」が25.9%、「要支援2」が24.2%と、要支援になるほど、少なくなっている。

- ✓ この1か月間、友人・知人の誰とも会っていない「一般高齢者」は8.4%、「要支援1」は16.8%、「要支援2」は16.8%となっている。
- ✓ よく会う友人・知人は「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」が多く、「いない」は「一般高齢者」が5.7%、「要支援1」が13.3%、「要支援2」が16.8%となっている。
- ✓ 要支援になるほど、助け合いや人との交流が少なくなる傾向があり、孤立や孤独を防止する取組が求められる。

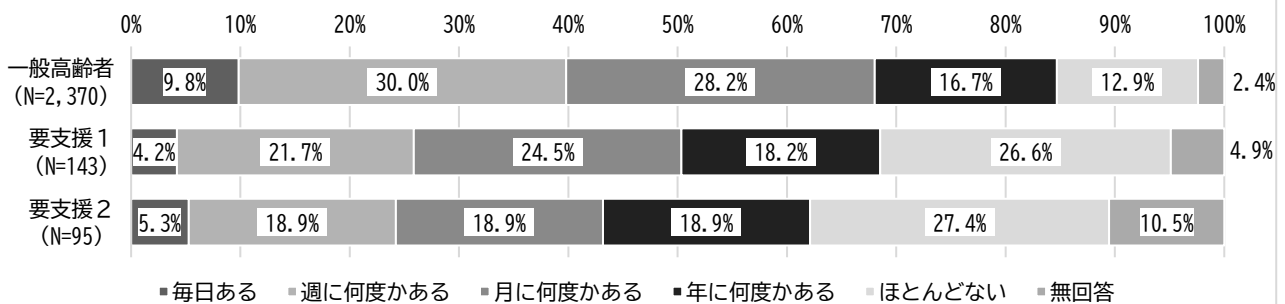




問6-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいいますか



問6-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

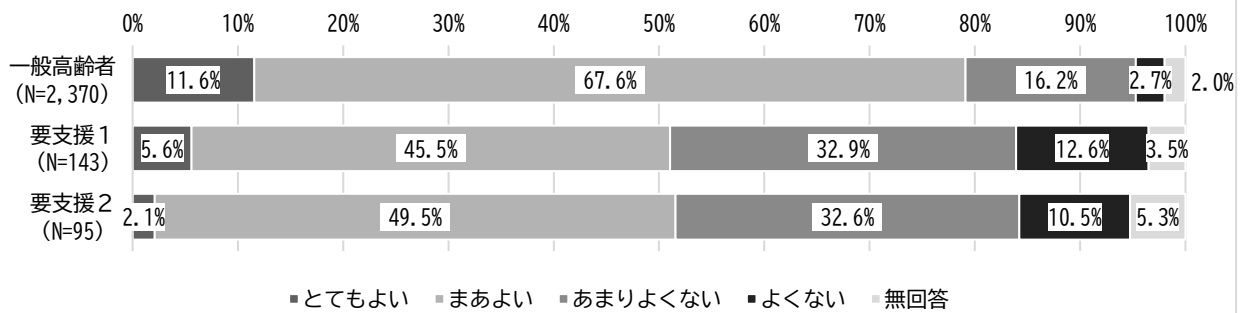


問7 健康について

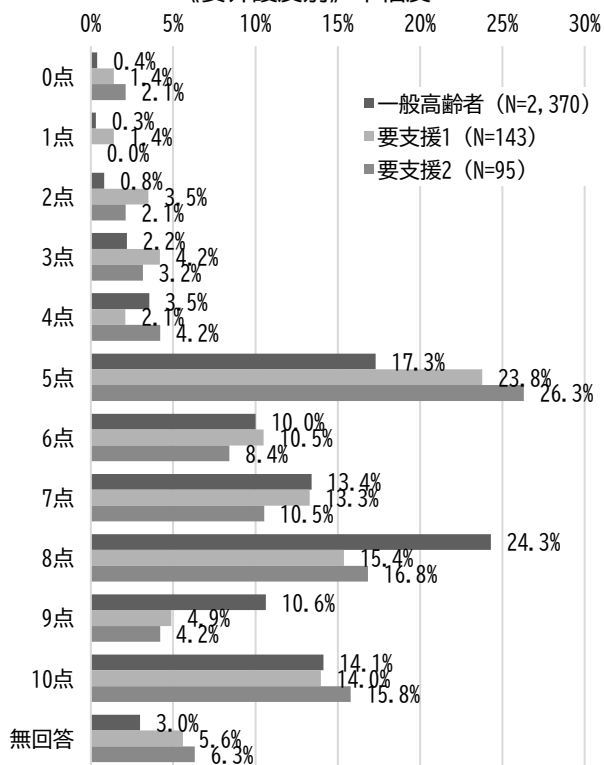
ポイント

- ✓ 健康状態を要介護度別に見ると、「とてもよい」「まあよい」を合わせると「一般高齢者」が79.2%、「要支援1」が51.1%、「要支援2」が51.6%となっており、「要支援1」「要支援2」の健康維持が課題となっている。
- ✓ 幸福度は「8点」、「5点」2つに山が見られるが、「要介護区分」「健康状態」「趣味」「生きがい」「参加者としての参加意向」「世話役としての参加意向」の各属性別で幸福度を比較して見ると、「よい/あり」の場合は「8点」、「わるい/なし」の場合は「5点」がもっとも多く現れており、要介護や健康状態、趣味や生きがいの有無、地域活動への参加意向などが、幸福度に大きな影響を及ぼしていると考えられる。

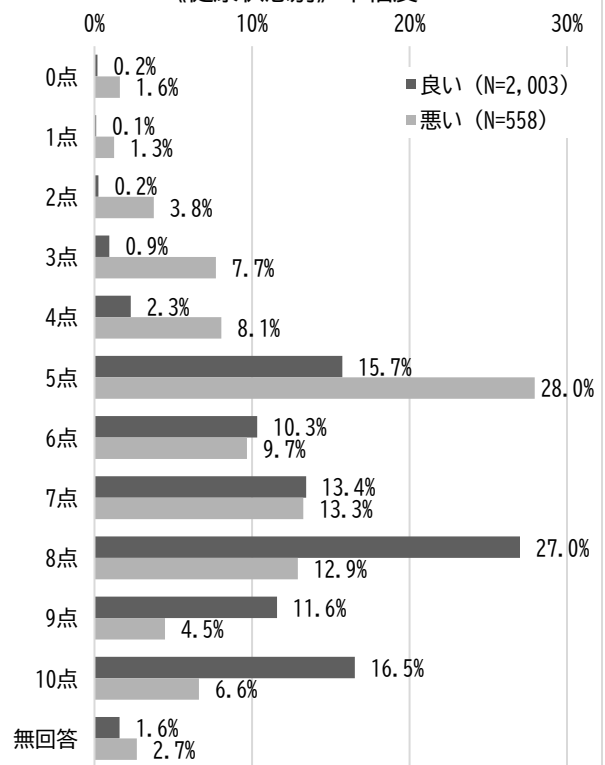
問7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか

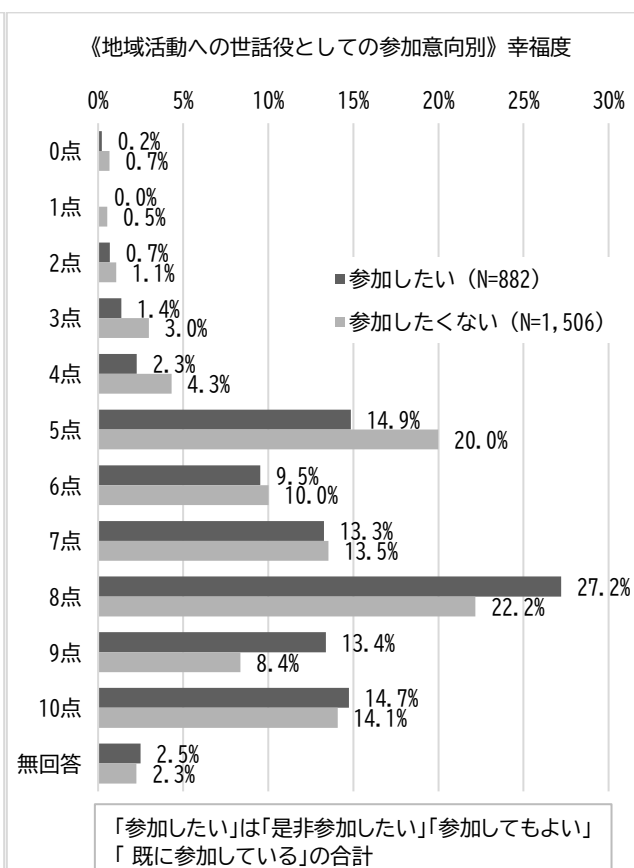
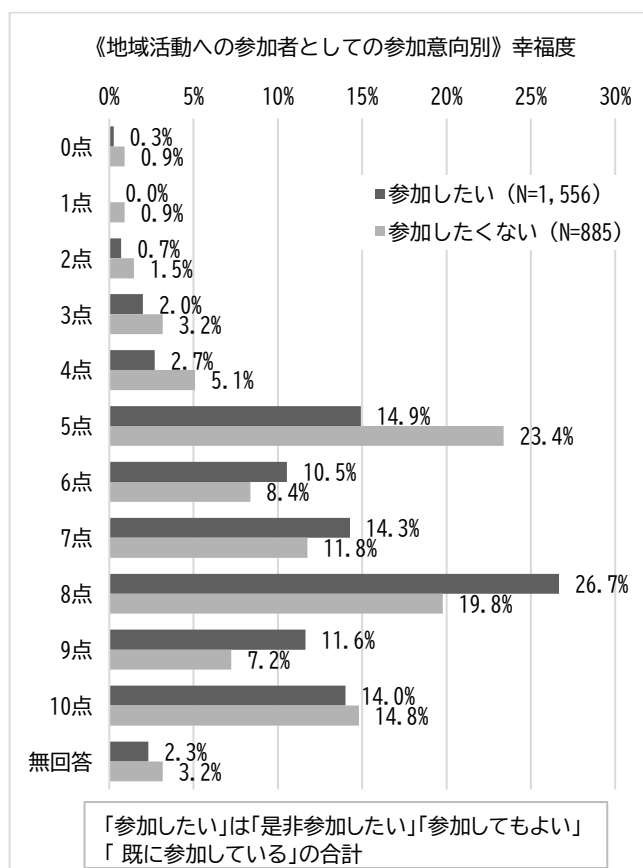
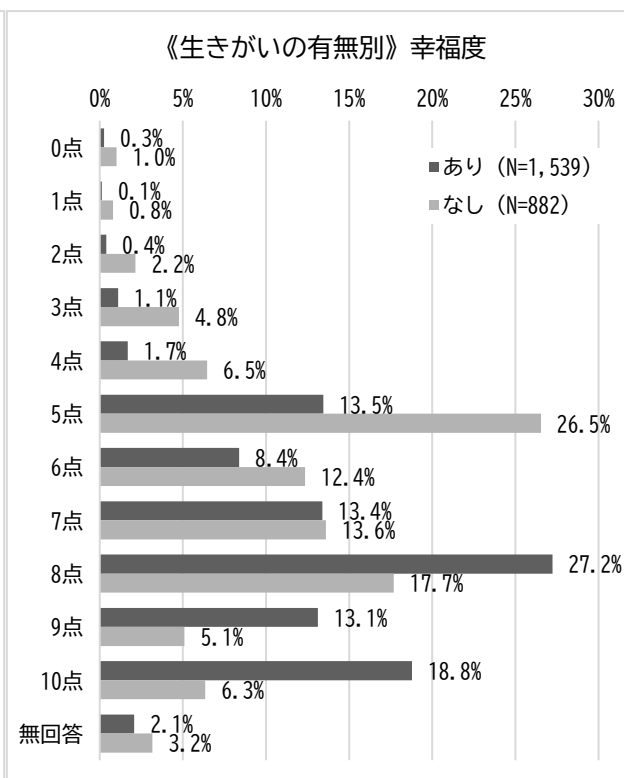
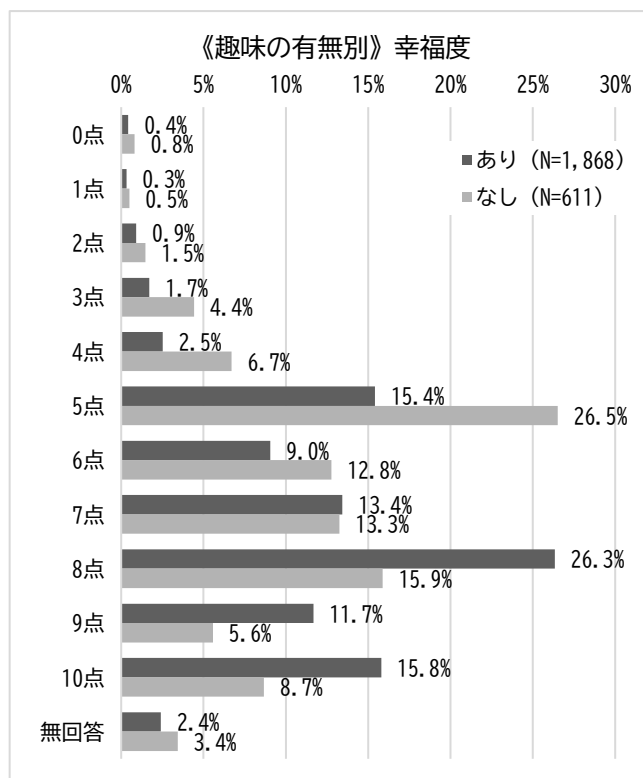


《要介護度別》幸福度



《健康状態別》幸福度



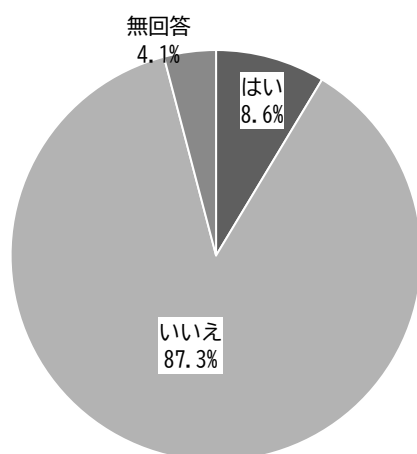


問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

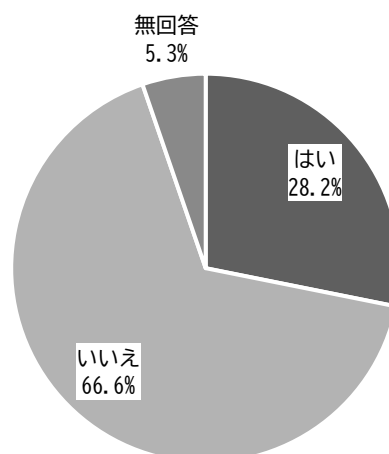
ポイント

- ✓ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいると回答した高齢者は8.6%、認知症に関する相談窓口を知っていると回答した高齢者は28.2%となっており、認知症があまり身近な問題になっていないことがうかがえる。

問8-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (N=2,618)



問8-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか (N=2,618)



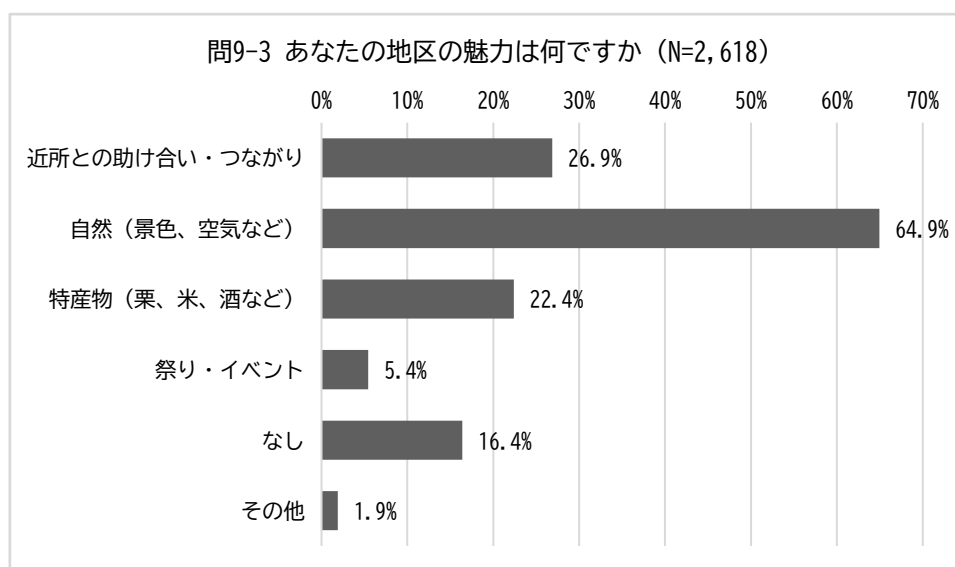
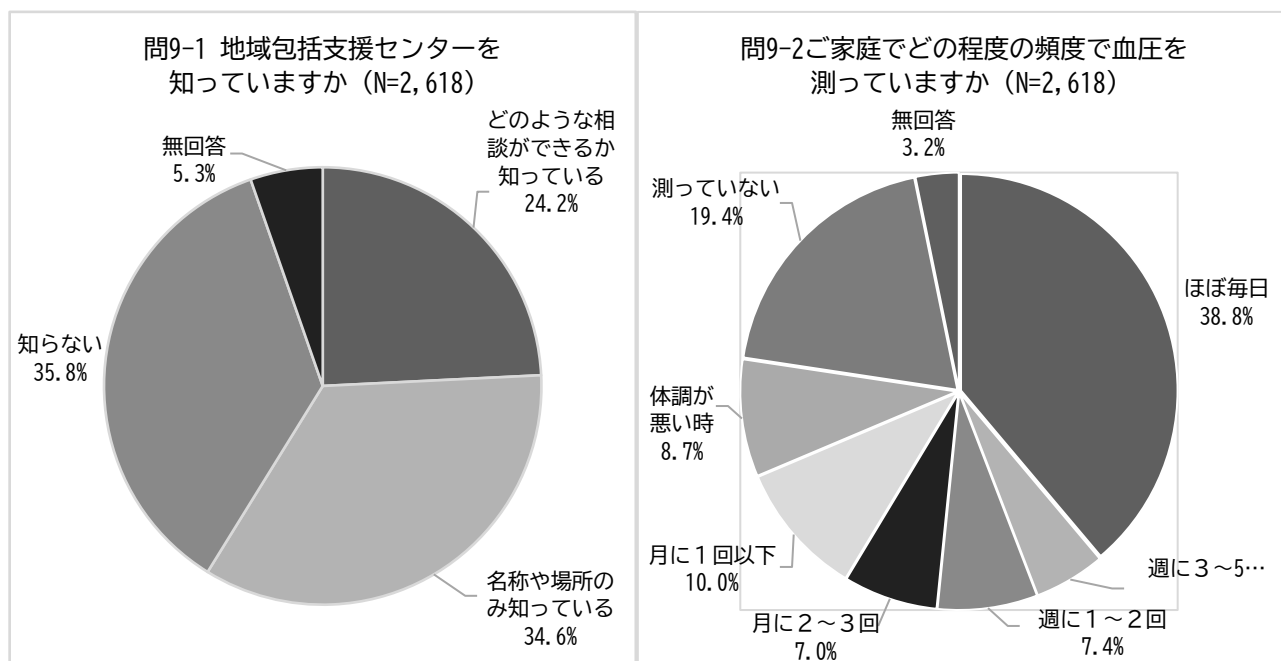
問9 その他

ポイント

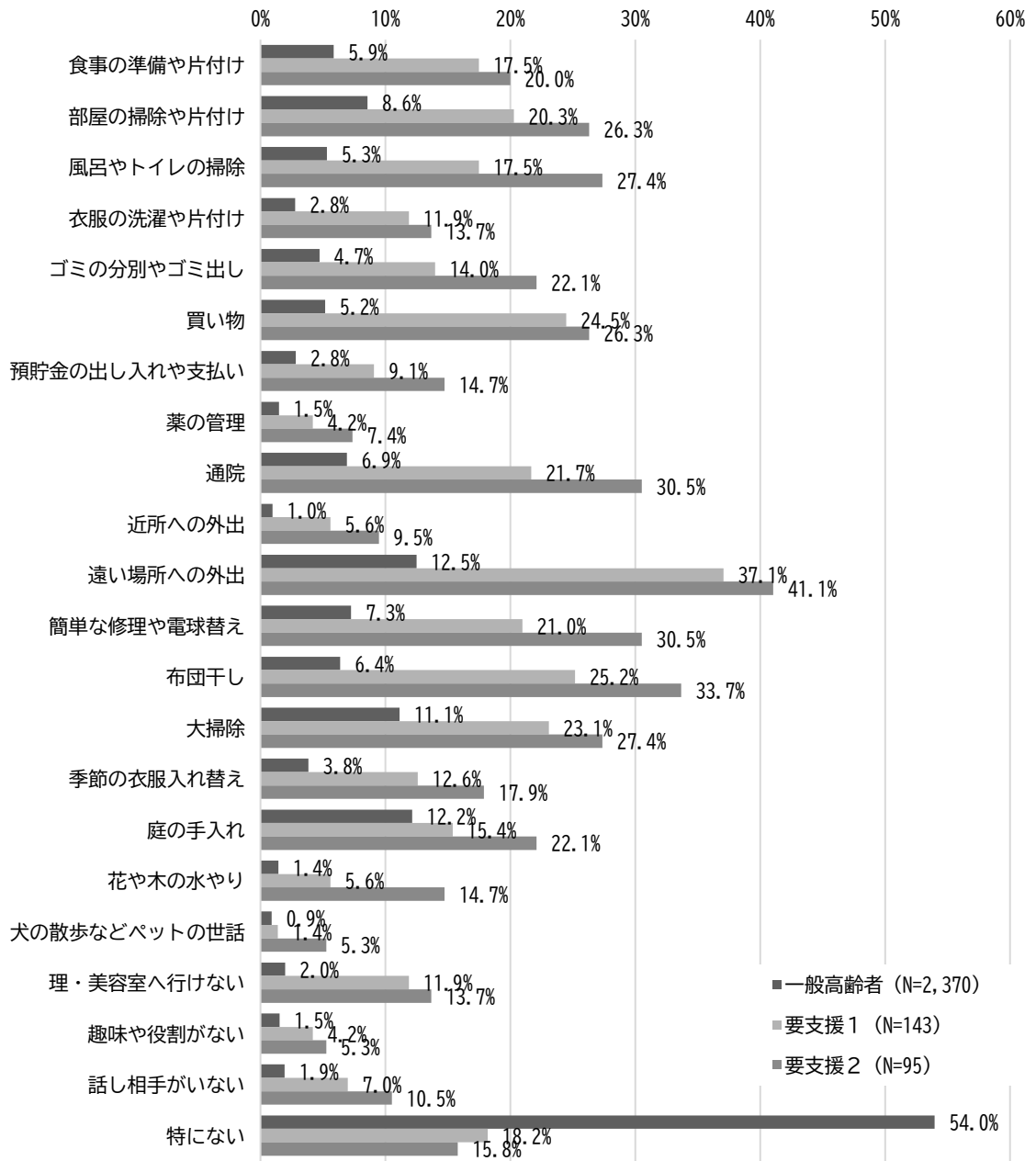
- ✓ 地域包括支援センターが「どのような相談ができるか知っている」は24.2%、「名称や場所のみ知っている」は34.6%で、認知度が徐々に上がってきている。
- ✓ ほぼ毎日、家庭で血圧測定している高齢者は38.8%で、「第8期」より17.5ポイント増加しており、取組の成果が現れている。
- ✓ 地区の魅力は「自然(景色、空気など)」「近所との助け合い・つながり」「特産物(栗、米、酒など)」が多い。
- ✓ 生活の不安や困りごとは、「一般高齢者」は「特にない」が多く、要支援になるほど、外出や通院、日常生活や家事などの様々なことでの不安や困りごとが増える傾向が見られる。
- ✓ 近所の方にしていることは「気になることがあったとき、『どうされましたか』と声をかける」「世間話などゆっくりお話を聞く」が多く、近所の方にやってみたいことは「病気やけがなどのとき、看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」「自分が買い物に行くとき、代わりに買ってくる」「車に乗せてあげるなど、外出の手助け」「おかずを作って近所の方に分ける」「花や木の水やりを代わりに行う」の順で多くなっており、こうした善意を助け合い活動に活かしていくことができる仕組みづくりが必要である。
- ✓ 人生の最期をどこで迎えたいかは「自宅」が28.7%、「自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う」が3

2.0%と、「第8期」に比べ、「自宅」が増え、「自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う」が減っている。

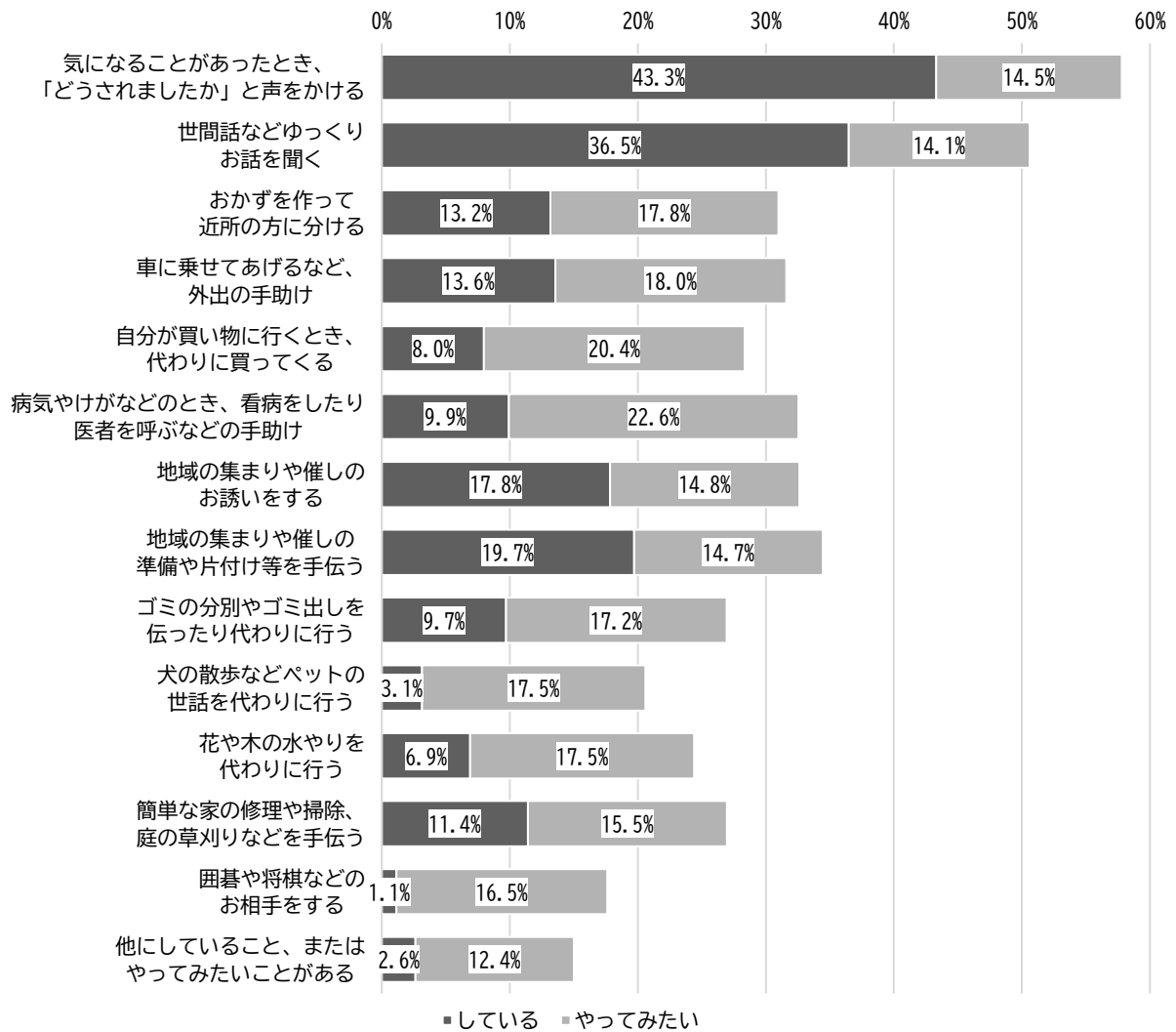
- ✓ 自宅で過ごすことが難しいと思う理由は「家族に迷惑をかけるから」「自宅では容態が急変した時の対応が不安だから」「病院や施設の方が24時間体制のケア(医療や介護)を受けられるから」が多い。
- ✓ 高齢化社会にむけて必要だと思う取組は「移送サービス・公共交通などの交通機関の充実」「往診や緊急時の対応などの医療体制の充実」「配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実」の順が多い。



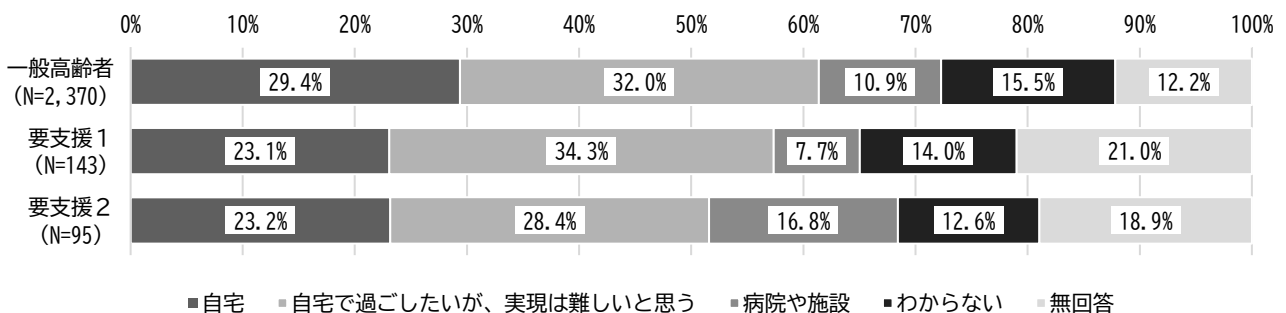
問9-4 生活する動作等のなかで不安や困っていること



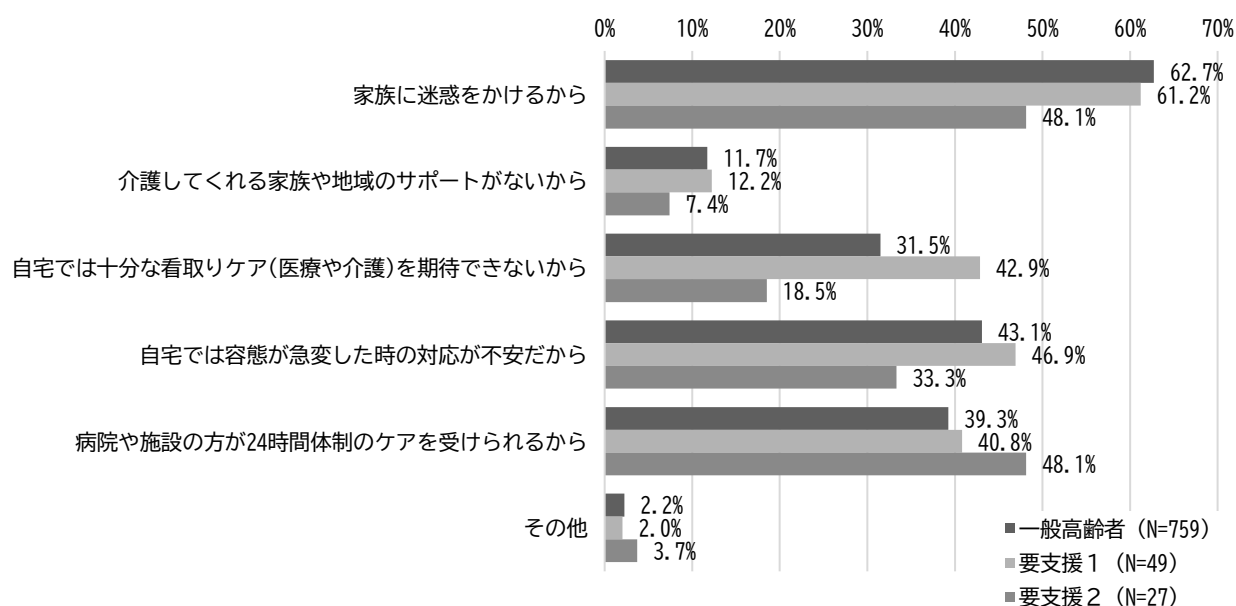
問9-5 ご自分が近所の方に行っていること、やってみたいことはありますか



問9-6 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思っていますか



問9-6-1 自宅で過ごすことが難しいと思う理由



問9-7 これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか

